



# 2010年度第2四半期 決算説明会

2 0 1 0 年 8 月 5 日  
楽 天 株 式 会 社

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

## 1 2010年度2Q業績及び戦略の振り返り

## 2 主要事業別の状況

1. 楽天市場事業
2. トラベル事業
3. クレジットカード事業
4. 電子マネー事業
5. 銀行事業
6. 証券事業

## 参考資料

- 財務の状況
- その他の参考資料

## 1. 第2四半期としては過去最高益を更新

- EBITDA 207億円（前年同期比 +8.1%）
- 営業利益 152億円（前年同期比 +12.2%）

## 2. 海外展開が加速

- 中国での店舗獲得を開始
- 米Buy.com、仏PriceMinisterを買収

## 3. 国内ネット・サービス（EC、トラベル及びポータル・メディア）の売上成長がいずれも20%超維持

## 4. 楽天経済圏が更に拡大

- Edyの楽天経済圏への取り込みが進行中

■ 楽天市場



- 流通総額は+18.9%\*とモメンタム維持
- 新機能・新サービスを継続的に投入
- システムを刷新

■ 楽天トラベル



- 予約流通は引続き伸長、+20.6%（前年同期比）
- レジャー需要が牽引

■ 楽天KC  
(クレジットカード)



- 楽天カード会員の申込みが引続き好調
- ショッピング取扱高は1兆円/年規模へ

■ 楽天ツールバー



- 国内インターネット検索市場のシェア拡大

\*前年の新型インフル特需を除く

■ビットワレット  
(電子マネー)

- 決済取扱高は伸長、+20.8%(前年同期比)
- 楽天カードへのEdy搭載を決定

■楽天銀行

- 楽天会員IDと連携したロイヤルティプログラム本格稼動
- 基礎収支は安定的に推移

■楽天証券

- FX収入と信用取引からの金利収入が好調
- 国内株現物手数料値下げの影響を補い、増収増益に

1. 社内公用語英語化
2. グローバルな人材採用
3. 開発拠点の国際化
4. ベストプラクティスの横展開を開始
  - 在外子会社の経営陣の朝会及び経営会議への出席
  - ポストM&Aの仕組み作りを開始
5. 楽天流マネジメントの下、リンクシェアの業績成長

## 楽天グループ規程(RGR)において グループ公用語を定義

- 原則として、楽天グループの公用語を**英語**とする
  - 英語文書：会議資料、議事録、規程類マニュアル、電子メール等
    - 例外：法定書類、顧客・サービス向け文書等
  - 会話
- 移行期間：2010年8月～2012年3月

- 取締役会を含む社内重要会議を英語化
- 会議資料、日報、イントラネットの順次英語化
- 社内英語研修の機会提供
- “English-hour” “English lunch”等、英語を話す環境を社員に提供

社内英語研修(日本・台湾から800名超参加)



楽天タワー内の“English Lunch”





## ■コミュニケーションの効率化

- 日本語の曖昧さを回避

## ■意思決定の迅速化

## ■海外の有用な情報収集に対する社員の意識向上

各国・地域のマネジメント



PriceMinisterでのAll Employees Meeting



楽天市場台湾での店舗向けカンファレンス



Buy.comオフィスでのEmployee meeting



# 1 2010年度2Q業績及び戦略の振り返り

# 2010年度2Q 連結業績 まとめ

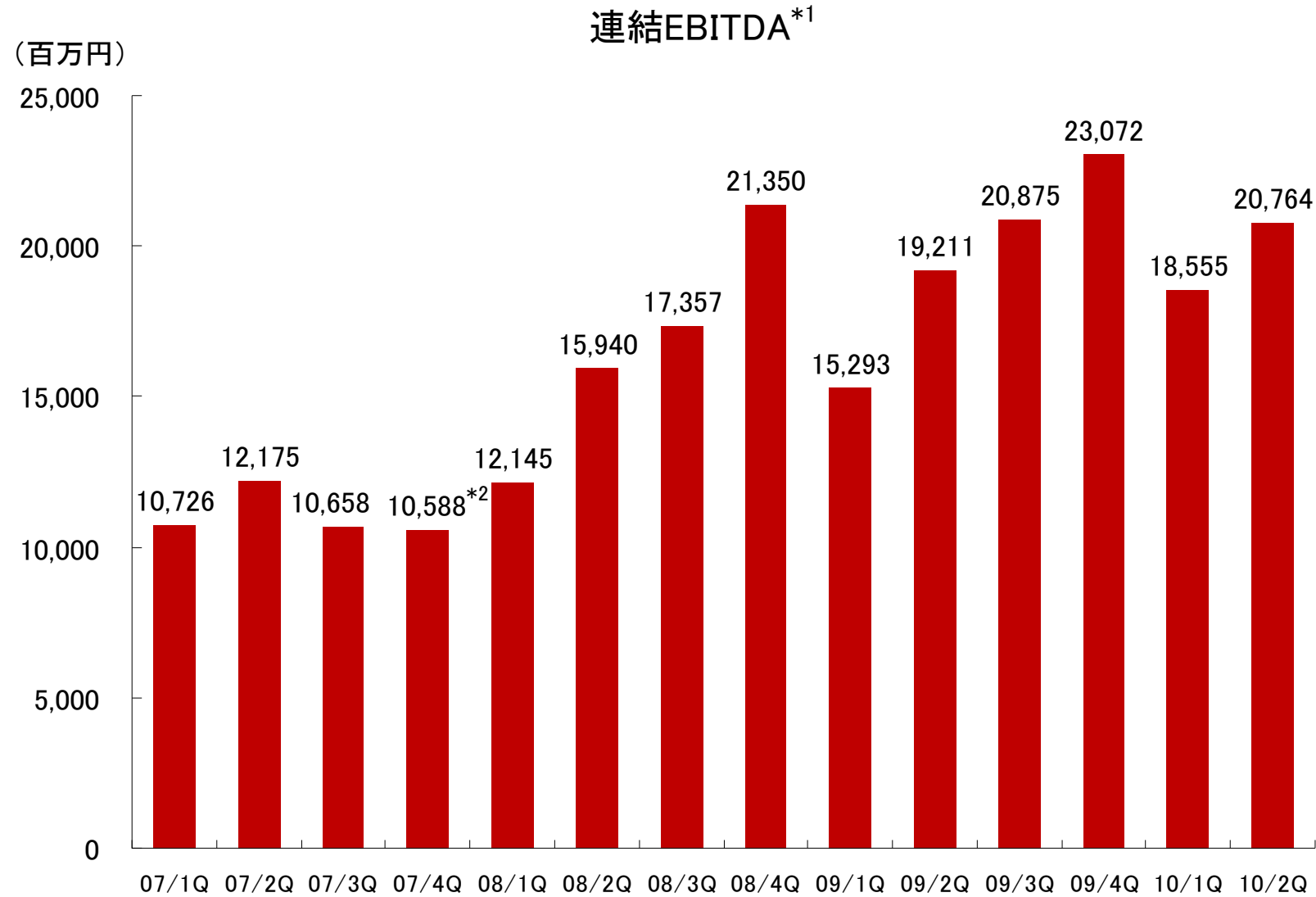


(単位:十億円)

	09/2Q(09/4月-6月)		10/2Q(10/4月-6月)			
	連結	クレジットカード 事業除く	連結	前年同期比	クレジットカード 事業除く	前年同期比
売上高	73.4	58.7	84.9	+15.6%	68.4	+16.5%
営業利益	13.6	13.0	15.2	+12.2%	15.0	+16.0%
営業利益率	18.5%	22.1%	18.0%		22.1%	
経常利益	13.2	12.5	14.8	+12.0%	14.6	+16.8%
EBITDA*	19.2	17.4	20.7	+8.1%	19.9	+14.6%

\*EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費-債権流動化影響額

# 四半期別EBITDA推移



\*1 EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費-債権流動化影響額

\*2 07/4Qは利息返還請求に伴う損失引当金の見積り変更により発生した一時費用245.2億円を控除した金額

# 2010年度2Q 売上高・EBITDAまとめ（事業カテゴリー別）



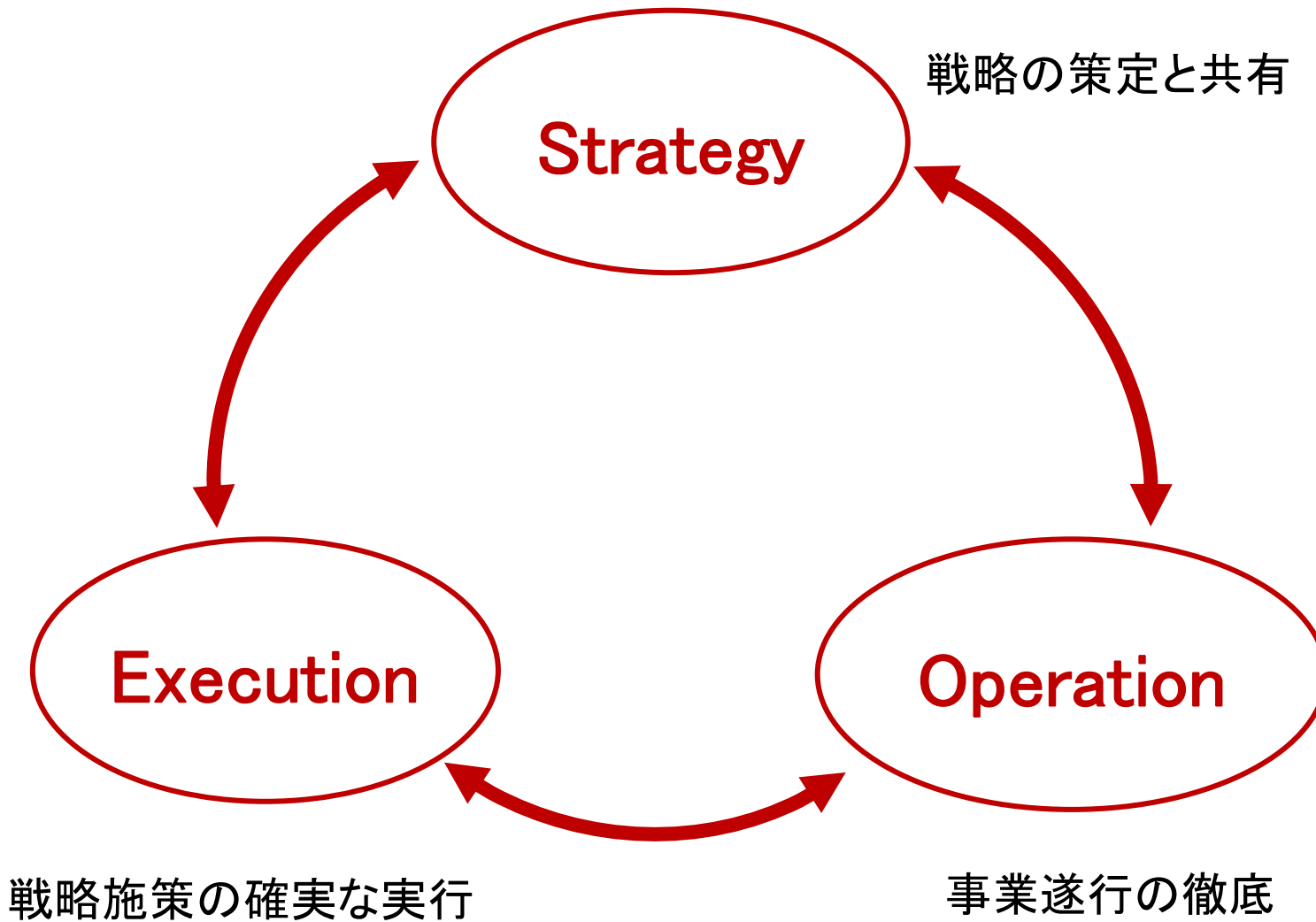
（単位：十億円）

			09/2Q(09/4月-6月)			10/2Q (10/4月-6月)				
			売上高	EBITDA*1	EBITDA マージン	売上高	前年 同期比	EBITDA*1	前年 同期比	EBITDA マージン
ネットサービス	EC トラベル ポータル・メディア	ネット*2	33.7	11.4	33.9%	41.3	+22.5%	13.2	+15.8%	32.1%
		グロス (会計上)	37.5	11.4	30.5%	47.1	+25.3%	13.2	+15.8%	28.2%
ネット金融	クレジットカード 銀行 証券 電子マネー*3		29.2	5.7	19.5%	33.6	+15.0%	5.3	- 5.8%	16.0%
その他	通信 プロスポーツ		9.5	0.8	9.0%	8.8	-7.6%	0.8	- 5.4%	9.2%
全社・内部消去			-2.9	1.1	-	-4.6	-	1.3	-	-
連結		ネット*2	69.6	19.2	27.6%	79.1	+13.6%	20.7	+8.1%	26.2%
		グロス (会計上)	73.4	19.2	26.2%	84.9	+15.6%	20.7	+8.1%	24.5%

\*1 EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費-債権流動化影響額

\*2 (参考情報):EC事業セグメント内の直販型のビジネスモデル(パッケージメディア事業)の粗利を売上高とみなして表示

\*3 :10/1Qよりビットワレット(株)連結開始



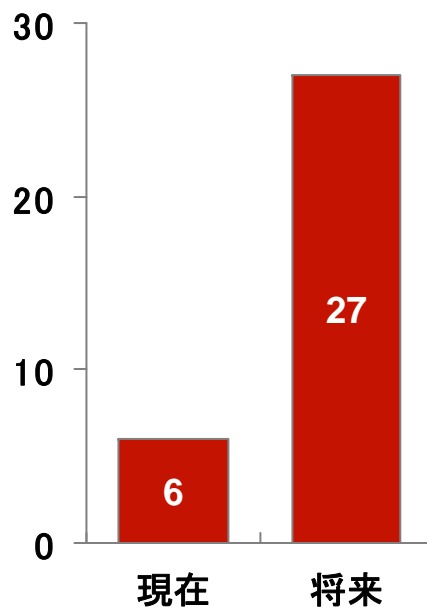


# Strategy



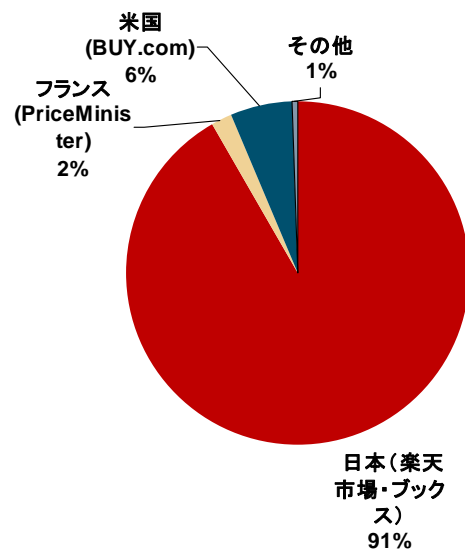
## 進出国

(進出国数)



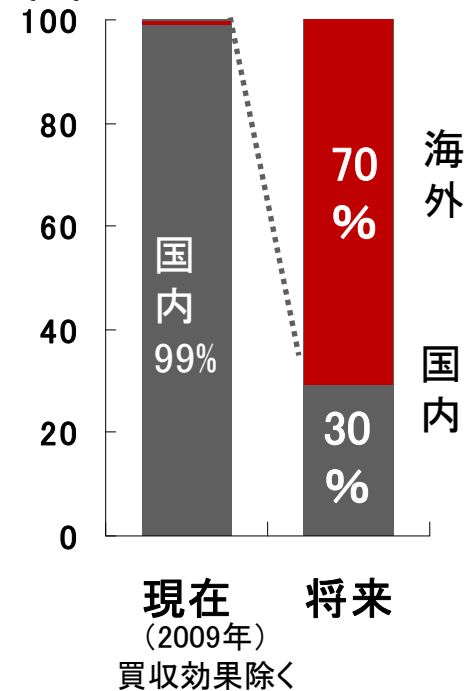
## 流通総額 (BtoC EC)

2009年ベース:  
海外 8%

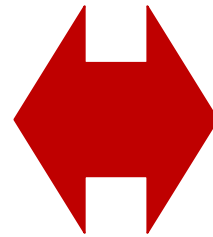


## 海外比率 (取扱高)

(%)



【海外競合他社】  
商品を軸に運営



楽<sup>R</sup>天  
I C H I B A  
【楽天市場】  
店舗を軸に運営

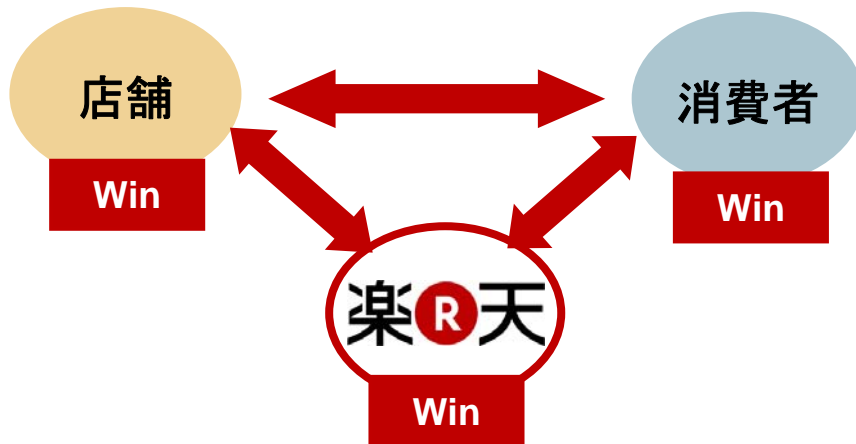
楽天市場の「エンパワメント」モデルは  
ユニークで真似し難いビジネスモデル

# 楽R天

## Win-Win-Win

### 共存共栄モデル

- 店舗の利益 = 消費者の利益 = 楽天の利益
- 店舗様をエンパワー = 情報・ノウハウの共有

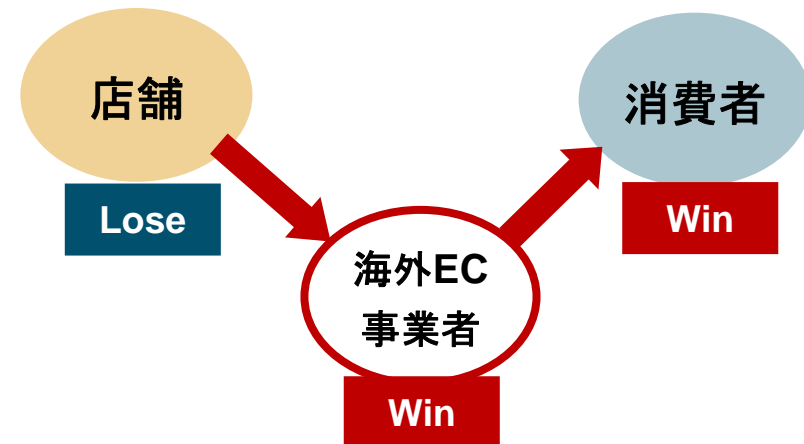


## 海外 BtoC EC事業者

## Lose-Win-Win

### 利益偏在モデル

- 直販型: 自己利益追及のため取引先への値引きの強要
- モール型: 直販型のための試験的要素



- 中国EC事業「楽酷天」(らくてん)、2010年4Q サービス開始予定

“Shopping is Entertainment!”

乐酷天

<sup>R</sup> Rakuten & Bai<sup>du</sup> 百度

URL : [www.rakuten.com.cn/](http://www.rakuten.com.cn/)

乐 (Le)	= Happy (楽)
酷 (Ku)	= Cool
天 (Tian)	= Day

「ニセモノを売らない」「ポイントがたくさん付く」  
「企画が色々あって楽しい」「日本商材が強い」

安心で楽しいショッピングモールを目指す

■ 出店店舗向け営業活動を6月開始、反響は想定以上

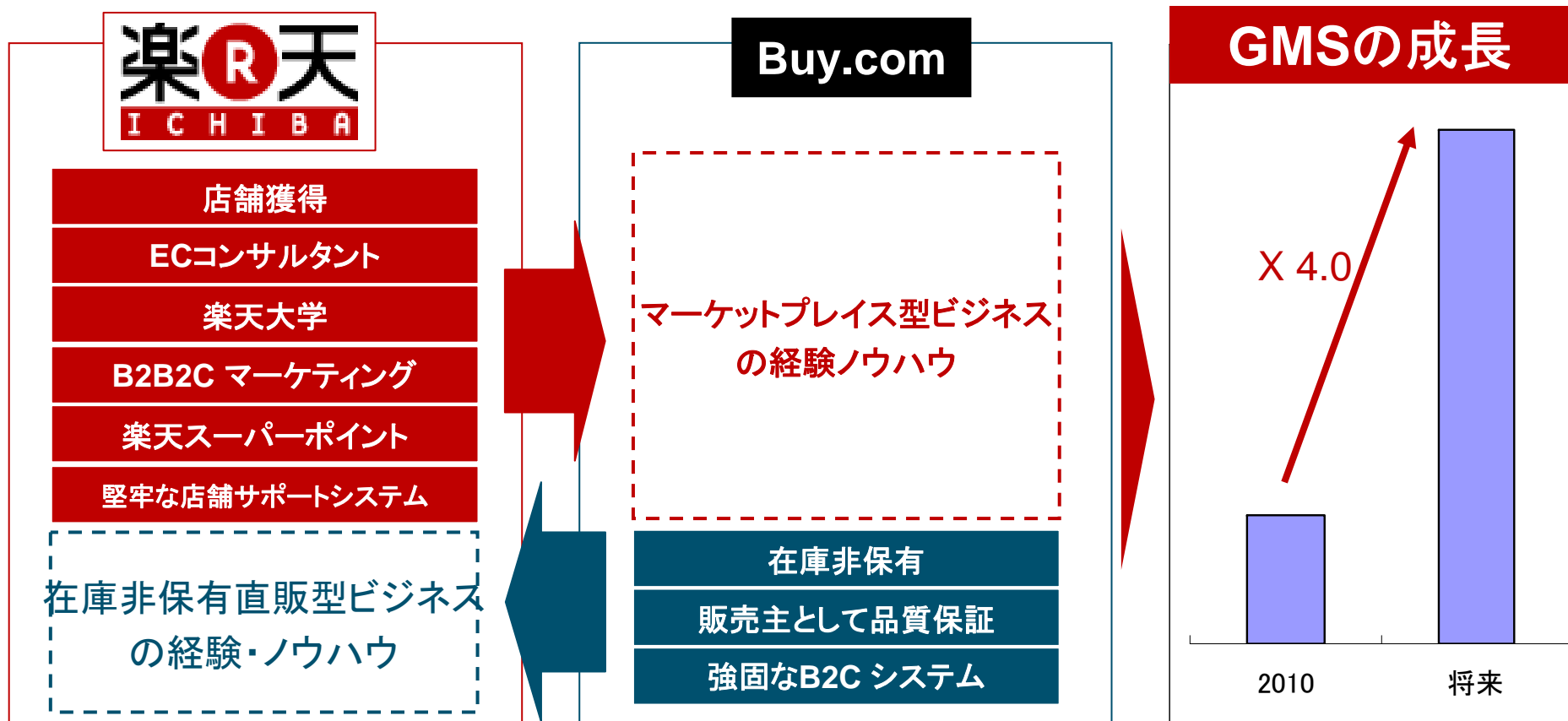
■ 競争力のある出店プランを設定

➤ 保証金(預り金)及びシステム利用料(売上比例)の組合せ

■ システム開発も順調

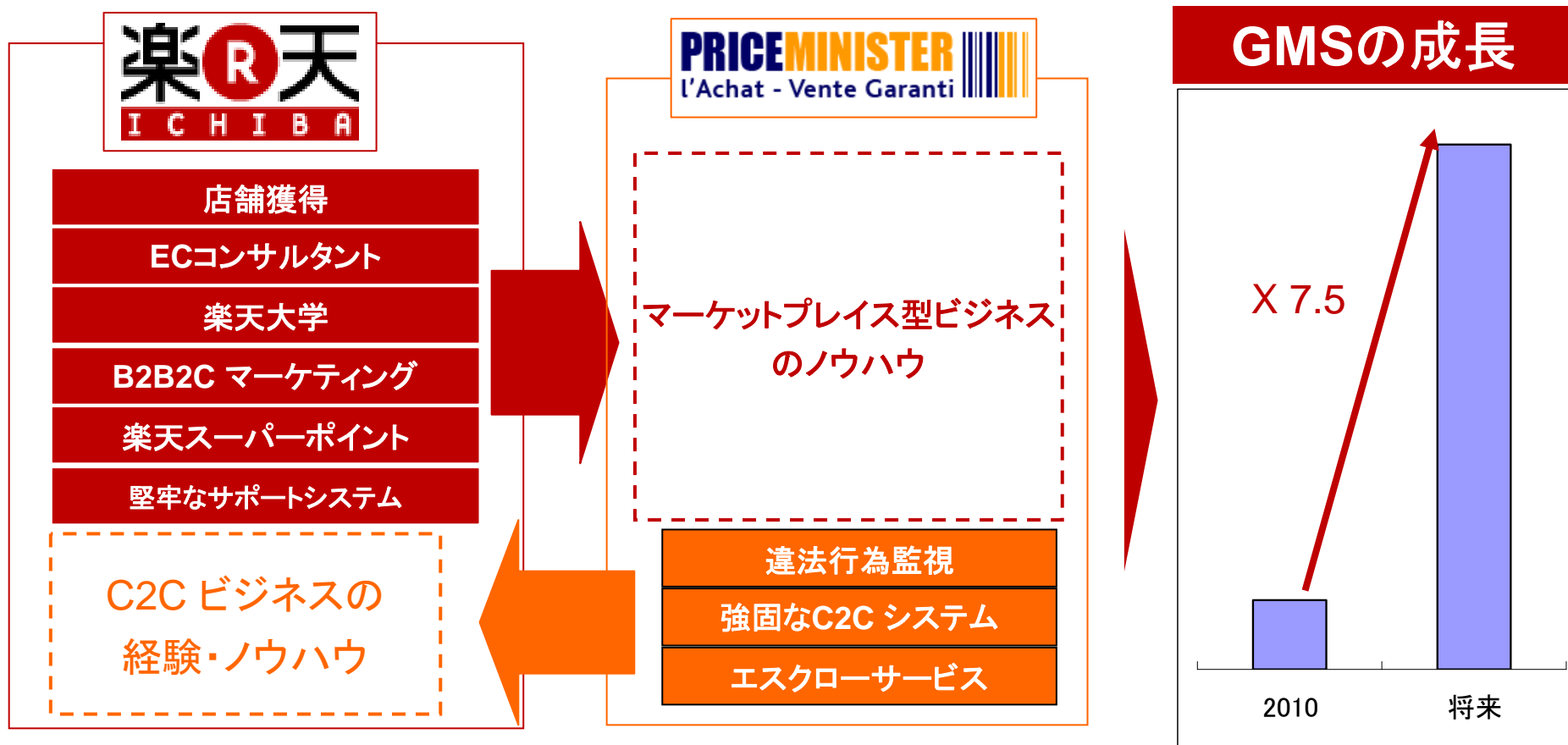
## シナジー

- 楽天が提供するもの: マーケットプレイス型ビジネスの経験・ノウハウ
- Buy.comが提供するもの: 在庫非保有直販型ビジネスの経験・ノウハウ



## シナジー

- 楽天が提供するもの: マーケットプレイス型ビジネスの経験・ノウハウ
- PriceMinisterが提供するもの: C2Cビジネスの経験・ノウハウ



進出地域・国の現状に合わせ3つのモデルを複合的に展開

楽天

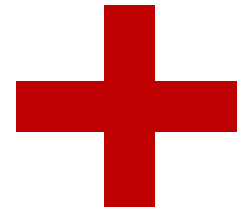
BtoBtoC モデル

店舗育成、地域貢献型

PRICEMINISTER  
l'Achat - Vente Garanti

安全・安心型CtoC

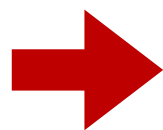
エスクロー、偽物補償



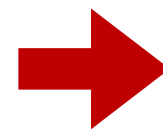
Buy.com

在庫非保有直販モデル

販売主として品質保証



成長市場、  
個人間取引で有効



黎明期・新興市場で  
有効



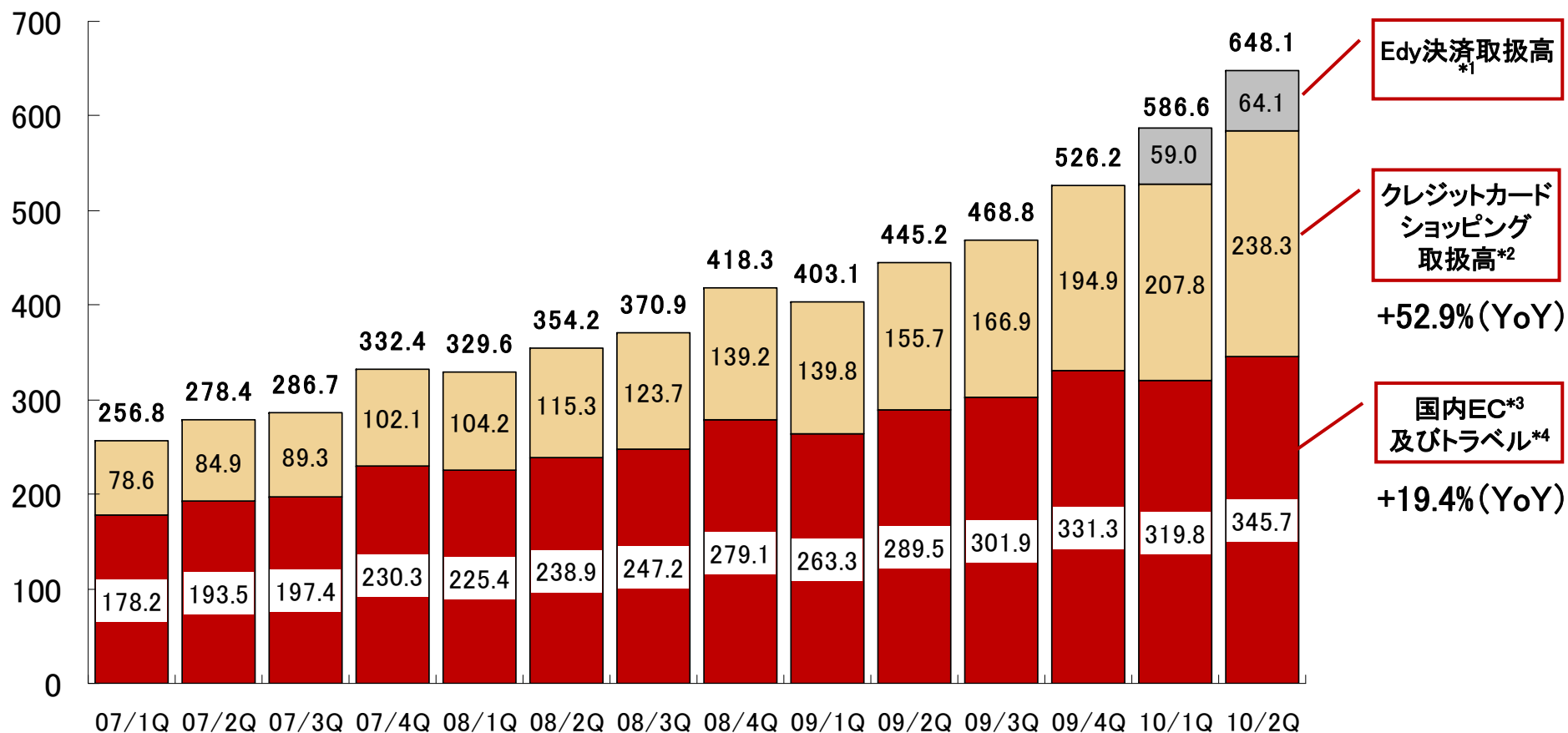


**Execution**

# 国内グループ流通総額推移(カード、電子マネー含む)



(単位:十億円)

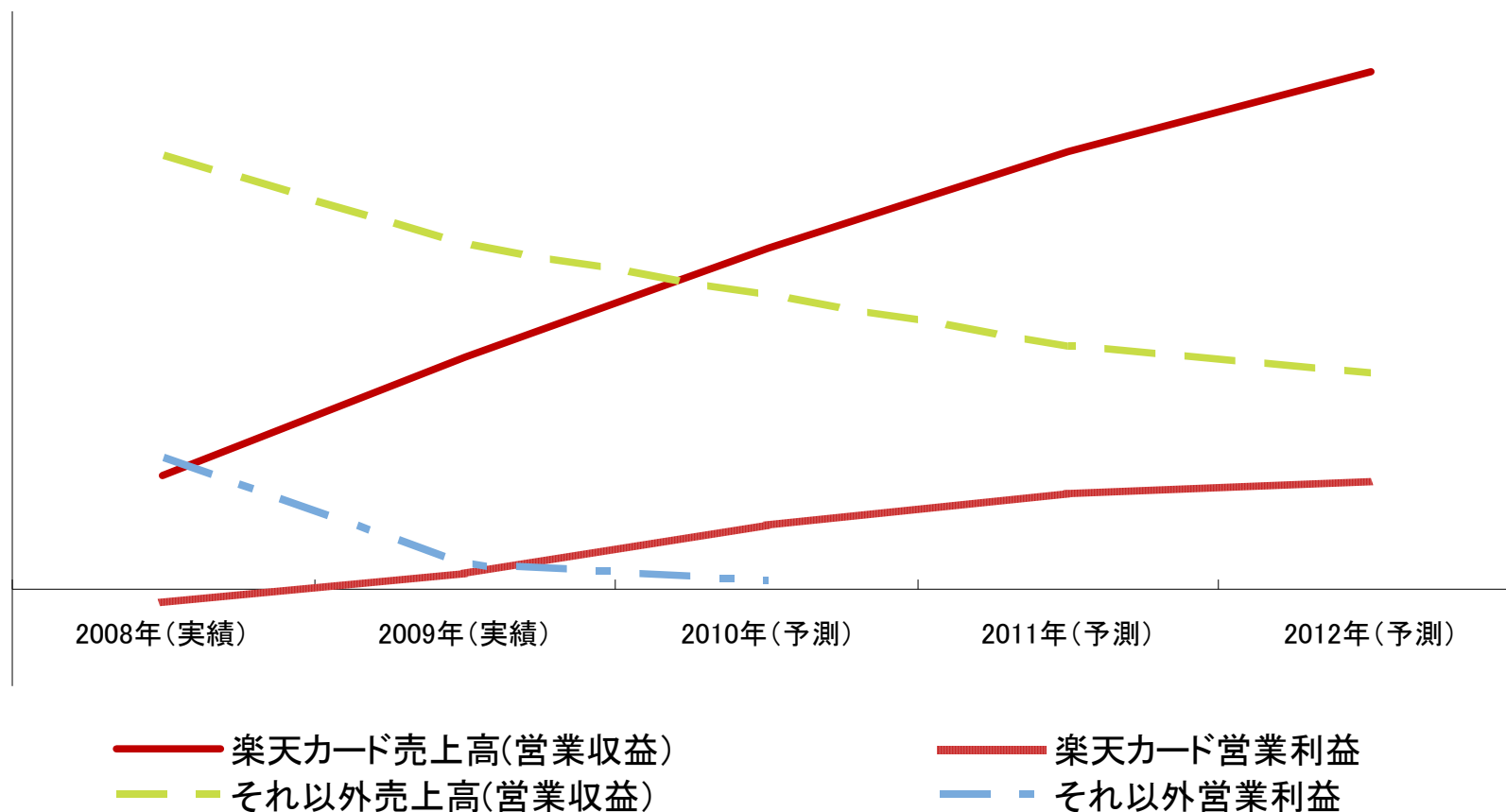


- \*1:Edy決済取扱高=電子マネーEdyにより決済された金額(モバイル(おサイフケータイ)及びカード)
- \*2:クレジットカード・ショッピング取扱高=楽天KC発行のクレジットカードのショッピング取扱高、楽天グループのサービス利用を含む
- \*3:国内EC流通総額=モール(通常購入・共同購入)、モバイル、オークション(旧フリマ含む)、ブックス、GORA、ビジネス、ダウンロード、チケット、ネットスーパー、チェックアウト、楽天競馬、toto(09/1Q~)\*5
- \*4:トラベル予約流通総額=予約受付時に対する流通総額(キャンセル前、税別料金に換算)  
=国内/海外施設予約、海外航空券、楽天バスサービス、国内/海外ダイナミックパッケージ、レンタカー
- \*5:10/2Q開示からサービス開始時まで遡及して追加

- サービスの粘着性を最大化
- EC、トラベルでの購入単価が上昇
- クレジットカード、電子マネー等の決済手段を通じリアルでの経済活動も収益源に
- 楽天経済圏の中でのクロスユースを推進

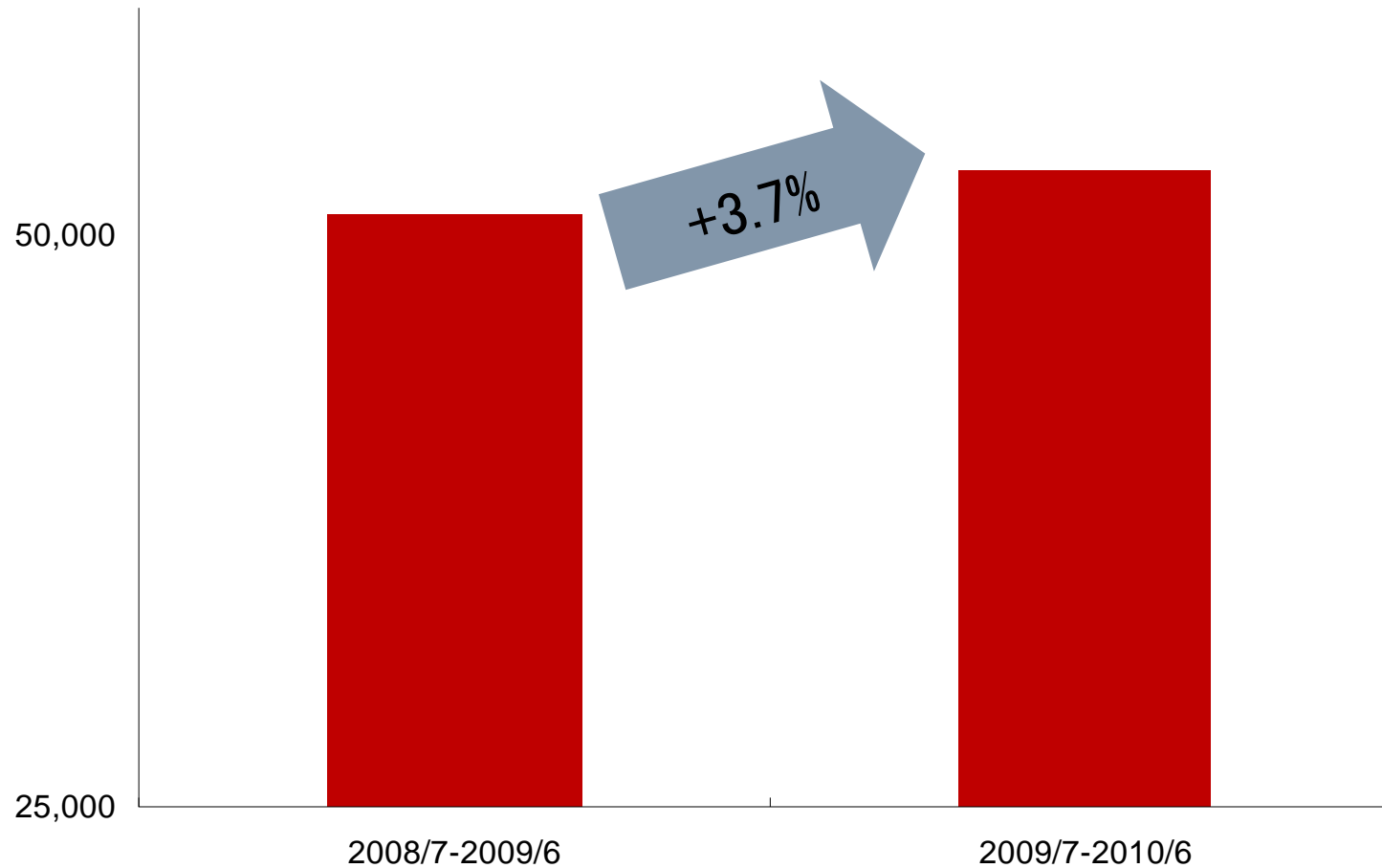
- 楽天カードは、新規会員獲得費用を吸収し、増益傾向
- 既存カードの融資事業の減益を補う構造転換が進展中

(百万円)



**Operation**

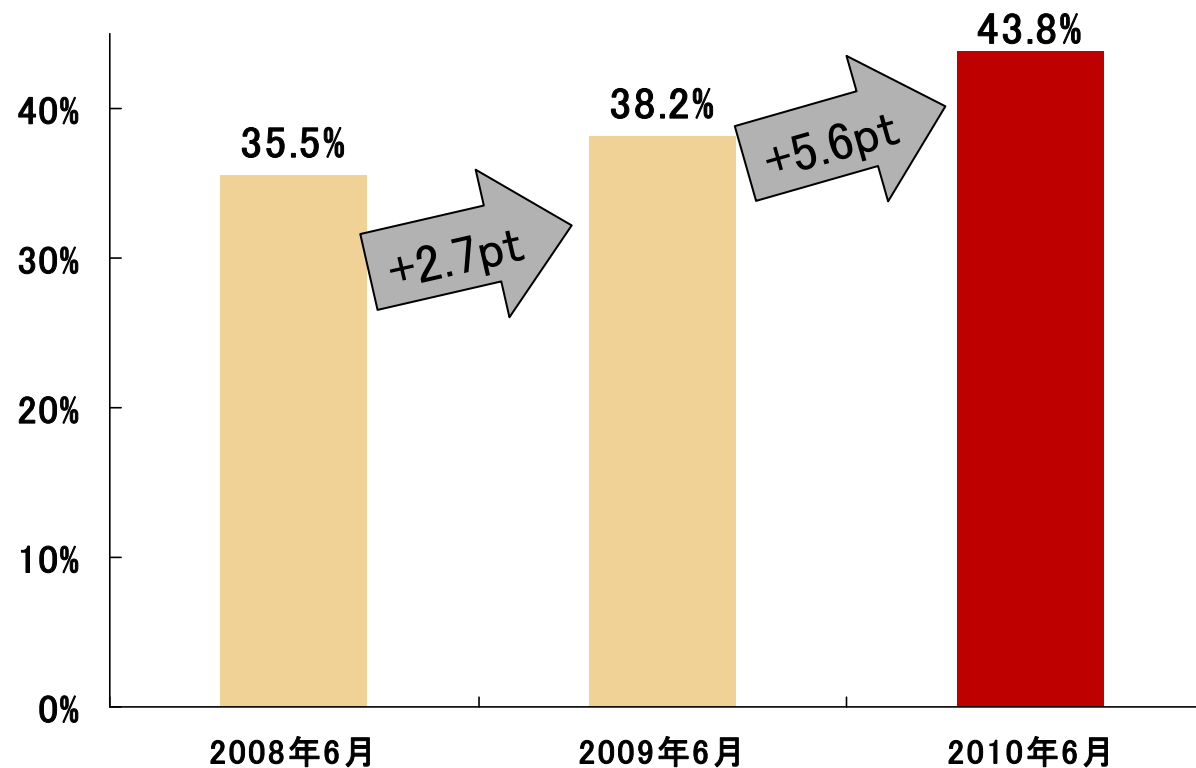
## 楽天会員/ユニークユーザー1人当たりの年間購入金額



\*: 年間ベースのユニーク購入者数=当該12ヵ月の間に1回以上楽天市場・楽天ブックスで商品を購入した会員及びユーザー。会員は会員ID、非会員はメールアドレスベースで名寄せした数 2009年7月～2010年6月: 16.0百万人

- グループシナジーが高まり、クロスユースの伸びが加速

## 楽天会員の2サービス以上の利用率



\*当該月間の楽天スーパーポイント獲得可能サービスの利用者が、過去12ヶ月間に他サービスを利用した場合をカウント  
\*楽天スーパーポイントが獲得可能なサービスの利用に限る(証券等を含まない)

## 2 主要事業別の状況

1. 楽天市場事業
2. トラベル事業
3. クレジットカード事業
4. 電子マネー事業
5. 銀行事業
6. 証券事業



2 -1 樂天市場事業

■流通総額の安定的な成長



- 流通総額は前年同期比+16.5%(前年同期比)
- 前年の新型インフルエンザ関連特需を除くと+18.9%(同)

■顧客の活性化



- 送料無料化キャンペーン実施
- 買い回りポイントキャンペーンにより、効率的なジャンル併売を促進

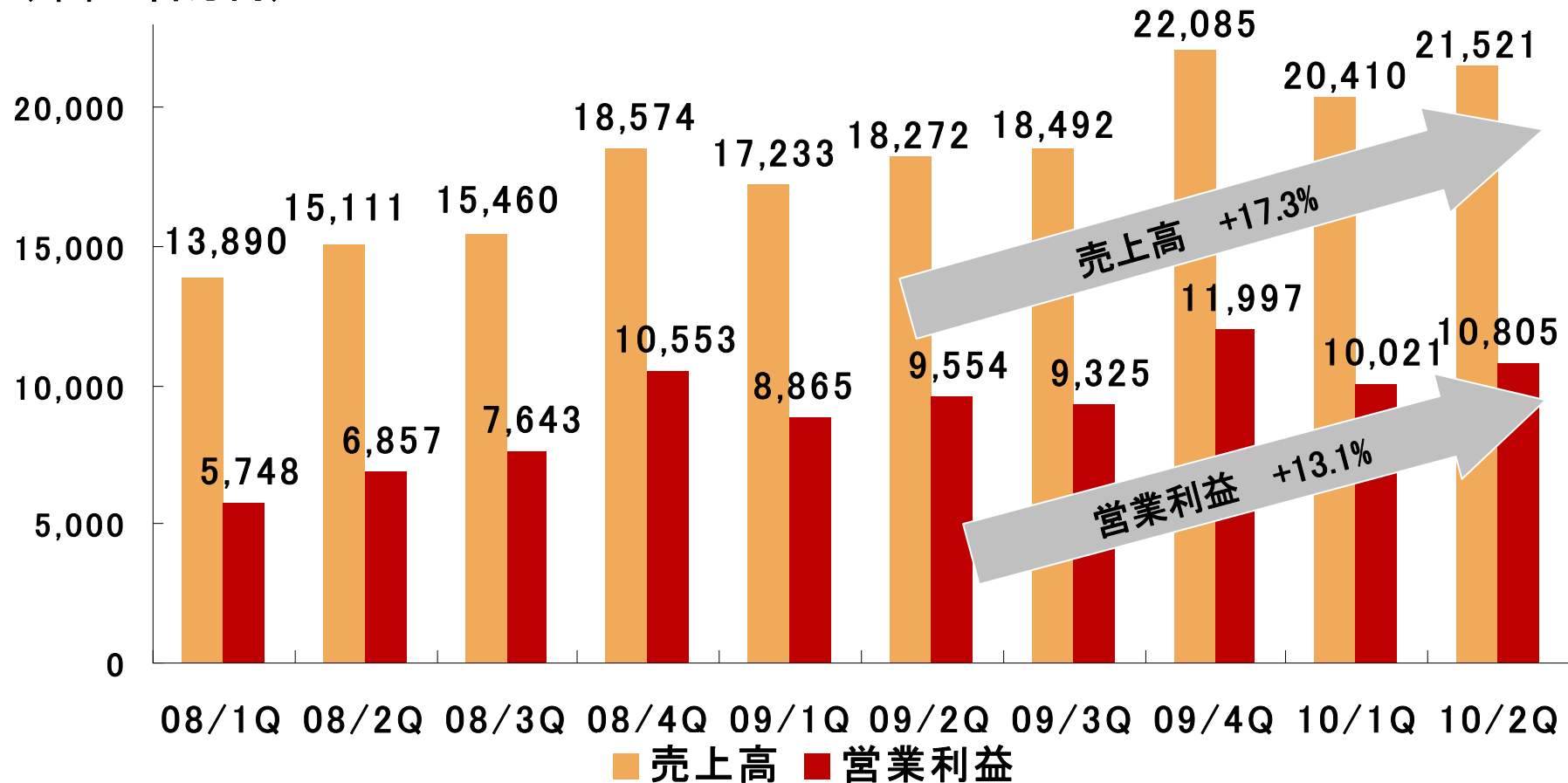
■『あす楽』の浸透



- 対応店舗拡大により、流通総額が大幅増加

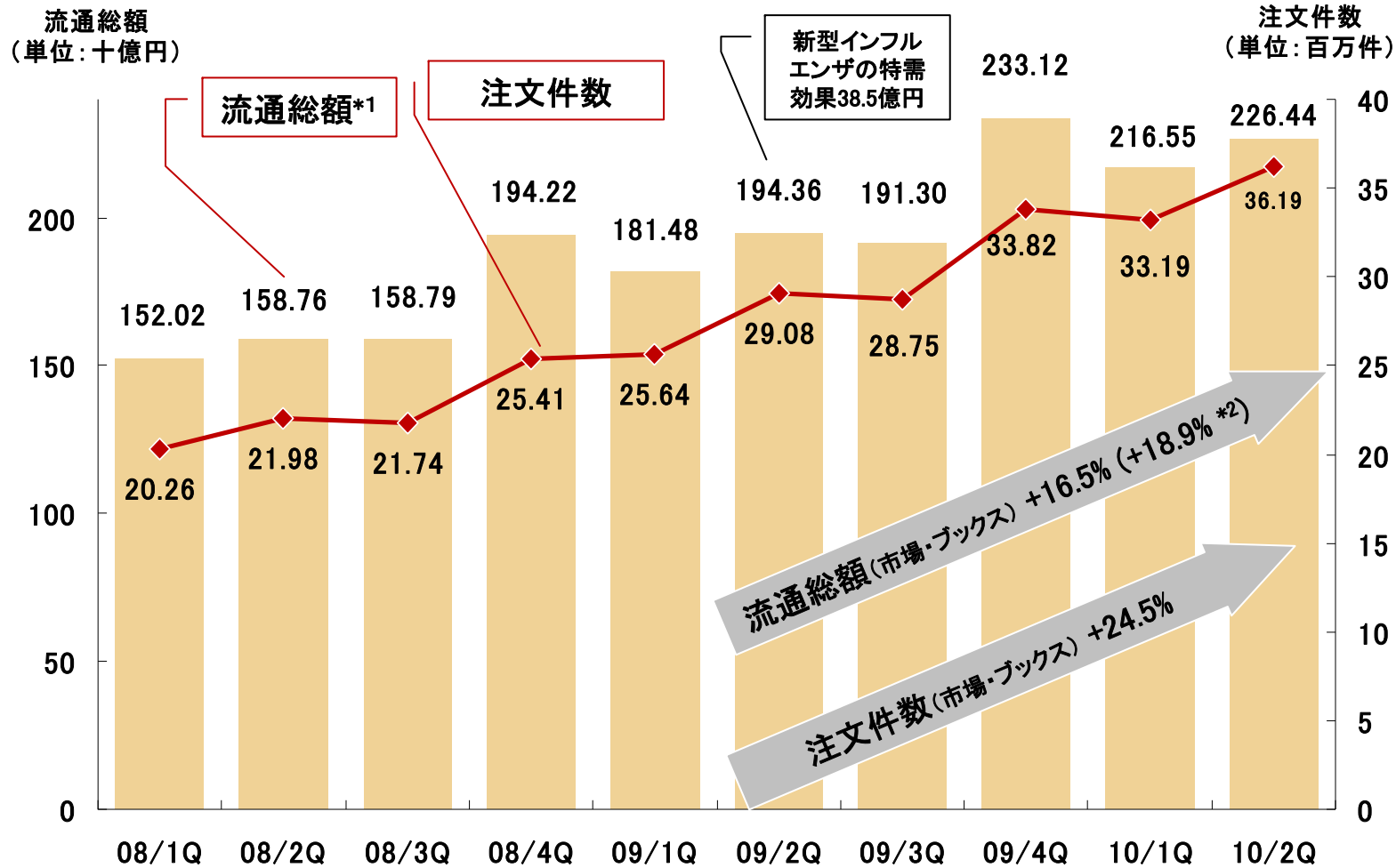
■売上高成長率は+17.3%(前年同期比)、営業利益は+13.1%(同左)

(単位:百万円)



# 流通総額の推移(楽天市場・楽天ブックス)

■市場・ブックスの流通総額は前年同期比+16.5%、前年の新型インフルエンザ関連の特需を除くと+18.9%



\*1: 流通総額＝モール(通常購入・共同購入)・モバイル(通常購入・共同購入)・ブックス  
 \*2: 2009年2Qの新型インフルエンザ関連の特需効果38.5億円を控除した前年同期比の伸び率

- ユニーク購入者数は前年同期比+18.4% と順調に成長持続
- 顧客の活性化を目的とした低単価商材の送料無料化を促進した結果、一回当たりの購入金額低下

	2008/2Q	2008/3Q	2008/4Q	2009/1Q	2009/2Q	2009/3Q	2009/4Q	2010/1Q	2010/2Q
ユニーク 購入者数*2 (百万人)	6.33	6.37	7.03	7.17	7.72	7.75	8.54	8.60	9.14
注文件数 (百万件)	20.78	20.65	24.19	24.05	27.11	26.43	31.02	30.27	33.26
平均購入回数	3.28回	3.24回	3.44回	3.35回	3.51回	3.41回	3.63回	3.52回	3.64回
一回当たりの 購入金額	7,443円	7,506円	7,844円	7,346円	6,970円	6,999円	7,268円	6,908円	6,586円
一人当たりの 購入総額*3	24,413円	24,327円	26,969円	24,637円	24,449円	23,868円	26,390円	24,291円	23,935円

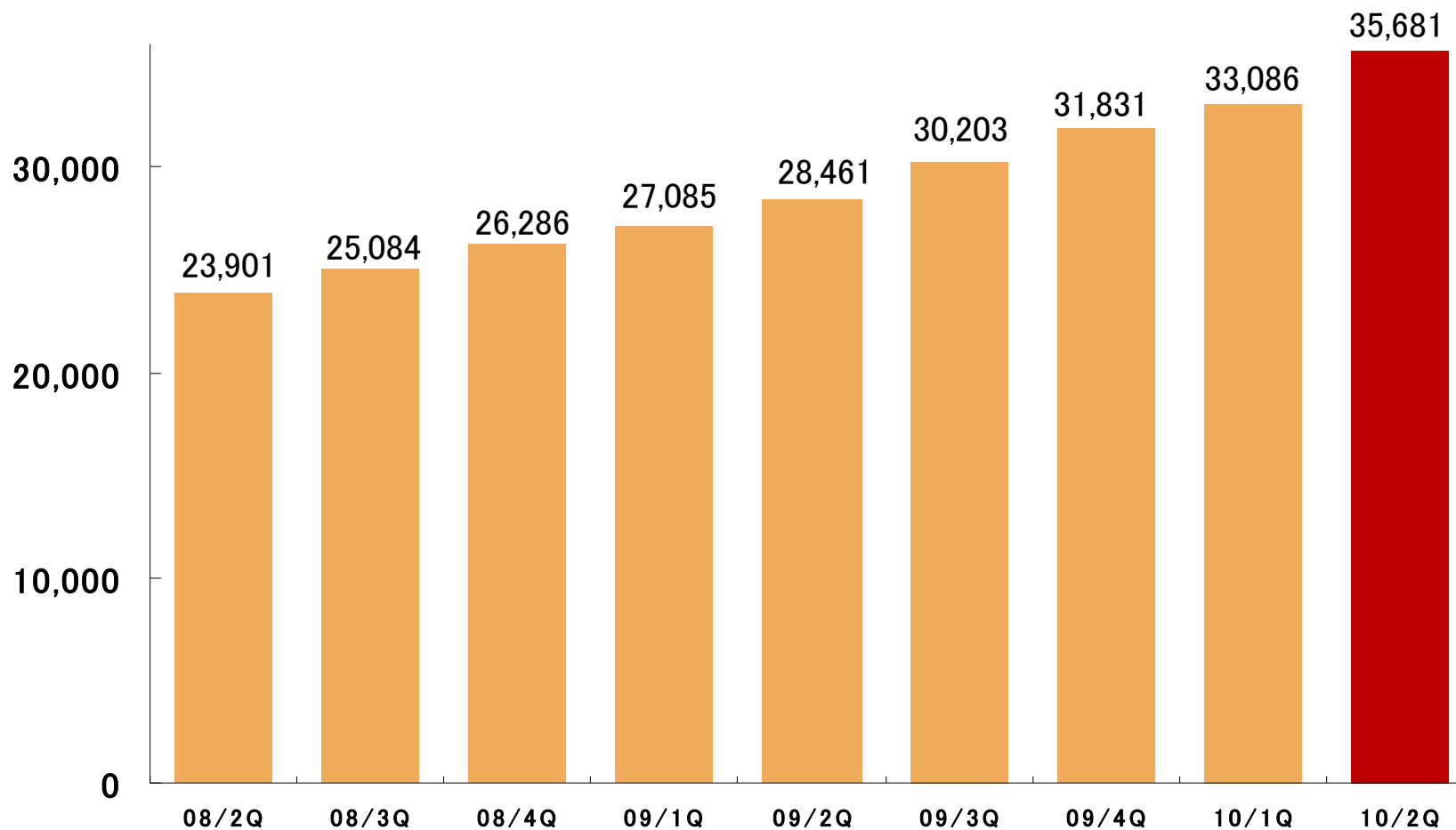
\*1: メールアドレスベース、モール・モバイルでの通常購入及び共同購入

\*2: ユニーク購入者数=当該四半期の中に1回以上楽天市場で商品を購入したユーザーをメールアドレスベースで名寄せした数

\*3: 一人当たりの購入総額=当該四半期楽天市場流通総額÷ユニーク購入者数

## 出店店舗数の推移\*

■ 出店店舗数(契約店舗数)は成長し+25.4%(前年同期比)、3万5,000店を突破  
(出店店舗数:店)



\*: 出店数の表示方法変更: 09/3Q開示より従来の各四半期の最終月に月額利用料を課金している店舗数をベースとする「課金店舗数」から、各四半期末の「契約済店舗数」に遡及して変更

## iPad専用楽天ランキング アプリケーション 7/30リリース



## 特徴

- 楽天市場の1,000以上のジャンルを対象に上位100商品(最大)を表示
- 楽天スタッフからユニークな商品を紹介
- お気に入りの商品を3ヶ月間保持、日付別やジャンル別で検索可能
- ツイッターでのつぶやき機能

# 楽天ランキングがiPad APP中1位を獲得



※当社調べ、8/1~8/3現在



2 -2 トラベル事業

■ 高い成長率を維持



- レジャー需要が牽引し、予約流通総額 +20.6%(前年同期比)

■ 足回りサービス拡充



- 高速路線バス取扱拡充
  - 国内唯一 & 最大の高速路線/ツアーバス 併売サイトへ
- JR東日本との連携強化
  - 軽井沢・那須・草津・みなかみで 「新幹線+レンタカー+宿」発売(6/11~)

■ グループ予約好調

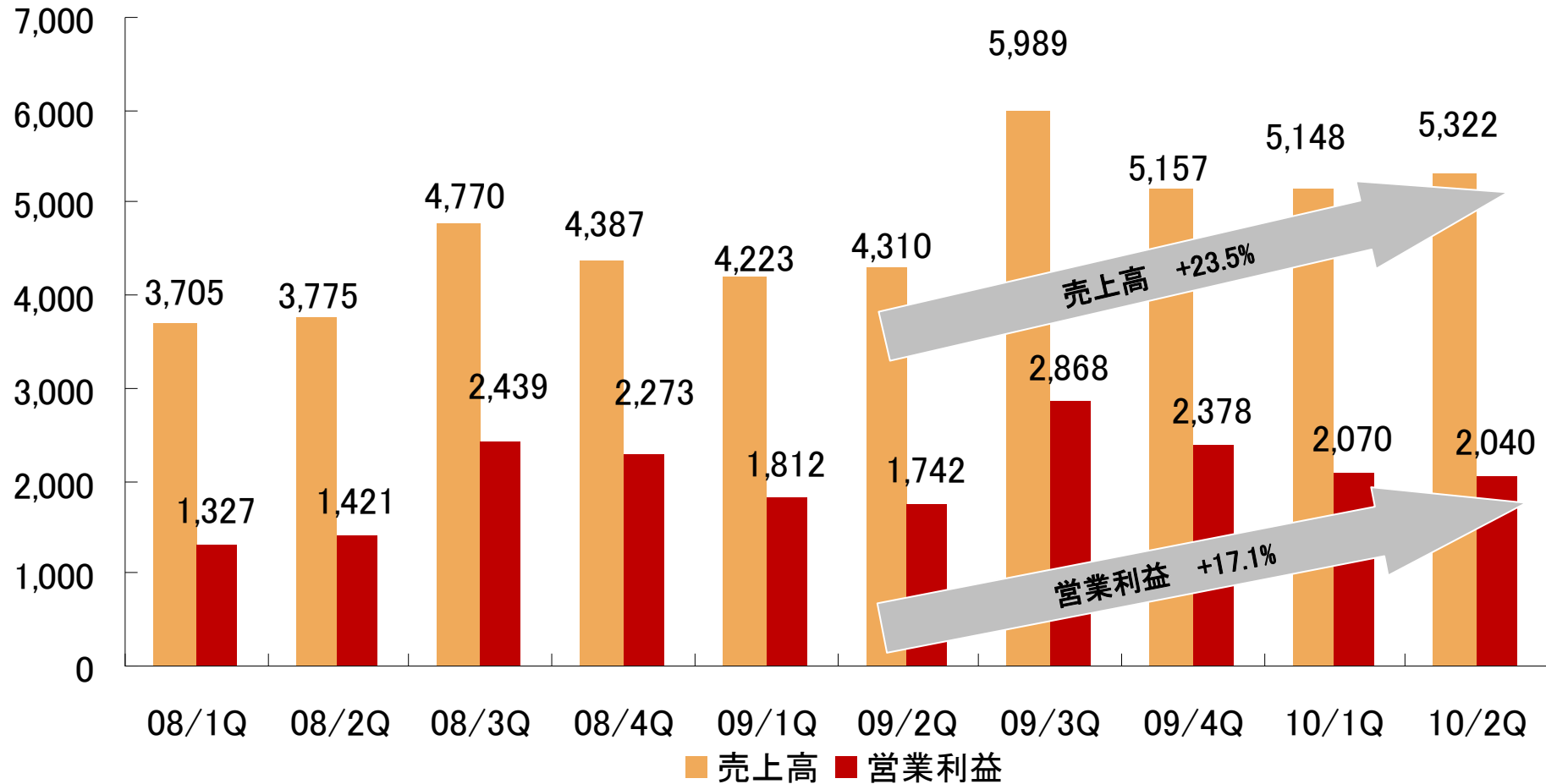


- あいのり(グループ予約)サービス強化
  - Twitter、Facebookとの連携スタート
- 予約流通が500百万円/月に成長

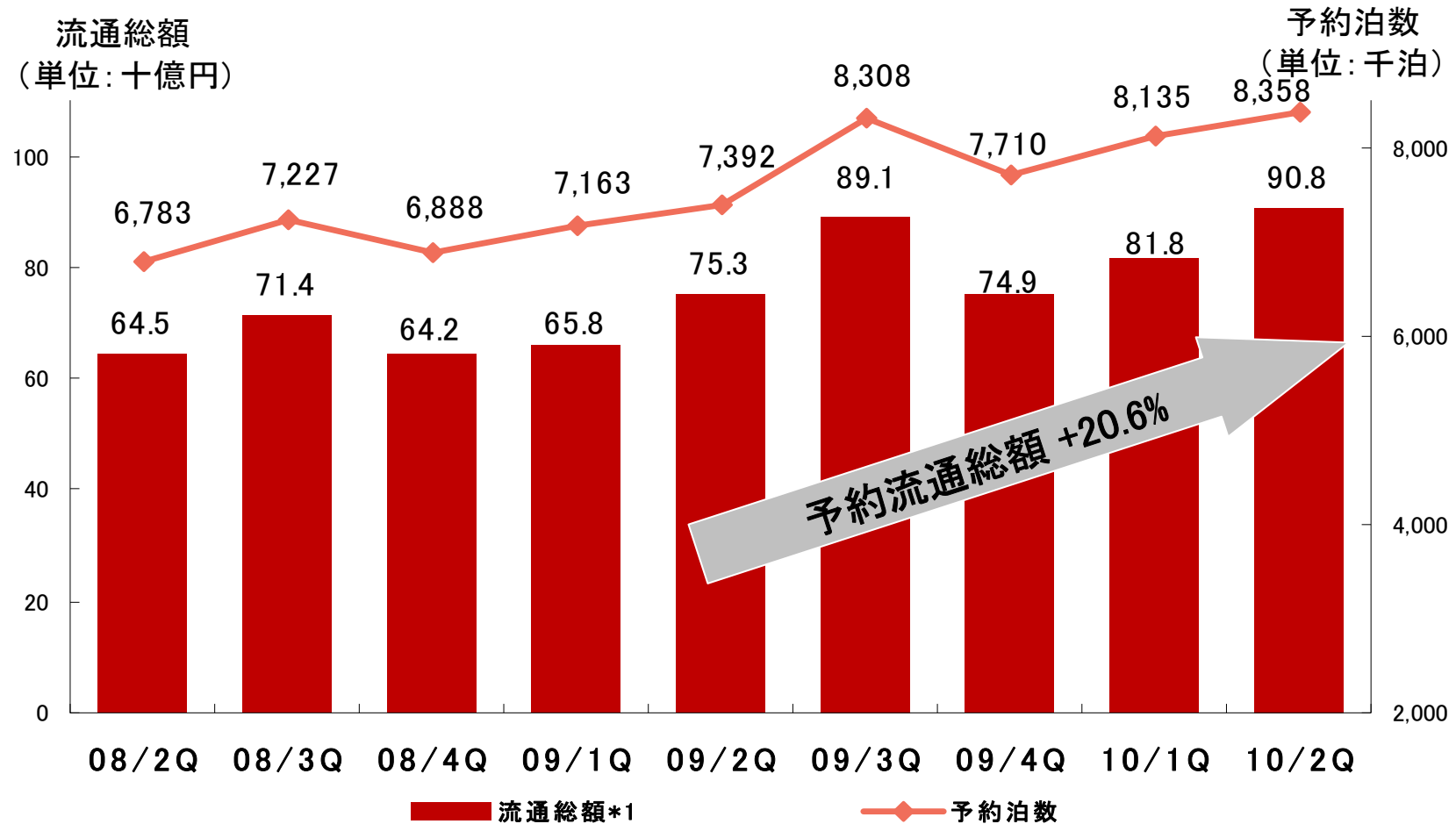
# トラベル事業セグメント 業績の推移

■売上高+23.5%(前年同期比)、営業利益+17.1%(同左)と高成長を維持

(単位:百万円)



■ レジャー向けキャンペーン強化により予約流通総額\*は+20.6%(前年同期比)



\*:トラベル予約流通総額=予約受付時に対する流通総額(キャンセル前、税別料金に換算)  
 =国内/海外施設予約、海外航空券、楽天バスサービス、国内/海外ダイナミックパッケージ、レンタカー

2 -3 クレジットカード事業

■ビジネスモデル転換  
が進む



- ショッピング取扱高の成長持続 +52.9%  
(前年同期比)
- ショッピングリボ残高の成長維持 +62.1%  
(前年同期比)

■カード会員の増加  
継続



- カード会員数510万人突破

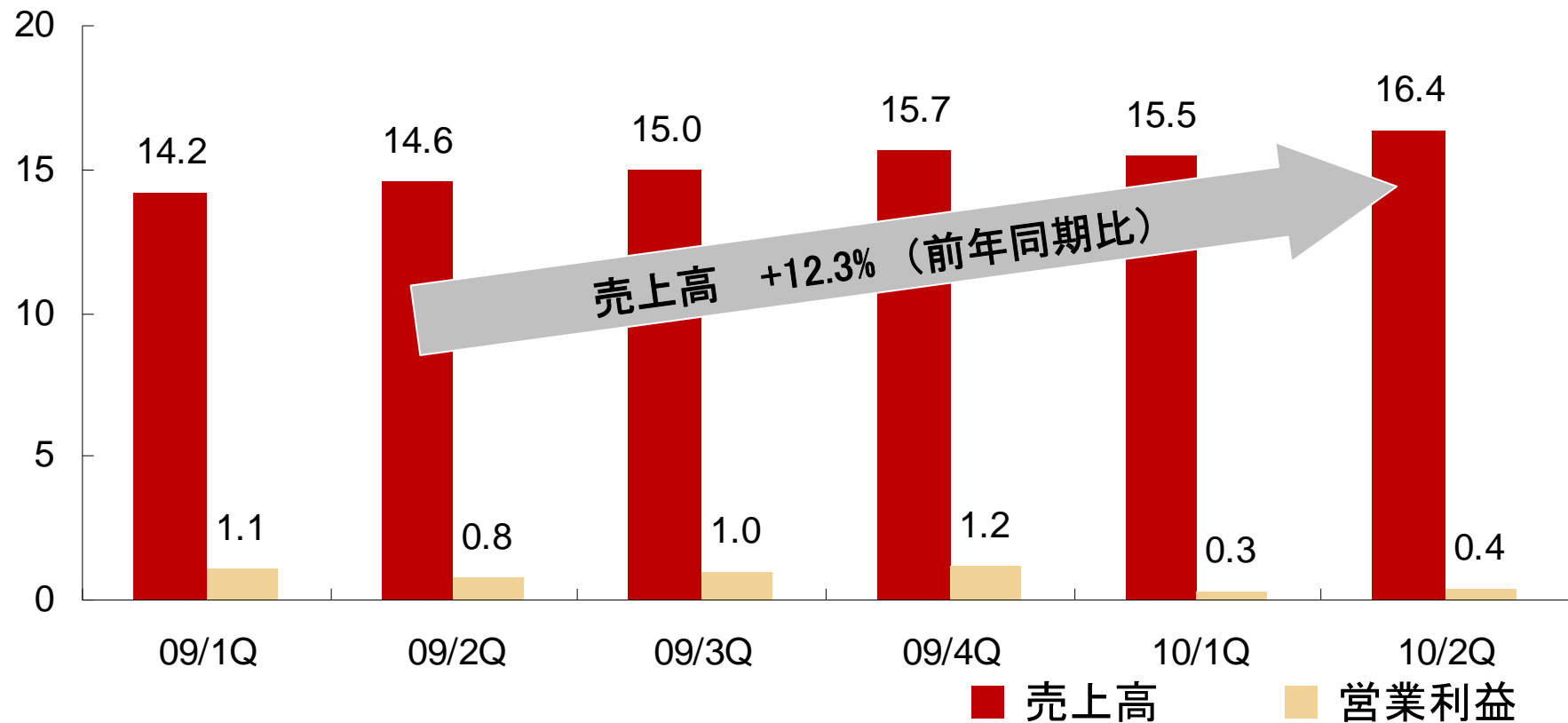
■過払い請求安定



- 過払い関連経費は前四半期と同水準で着地

■ 厳しい市場環境の中でも営業黒字を確保

(単位:十億円)

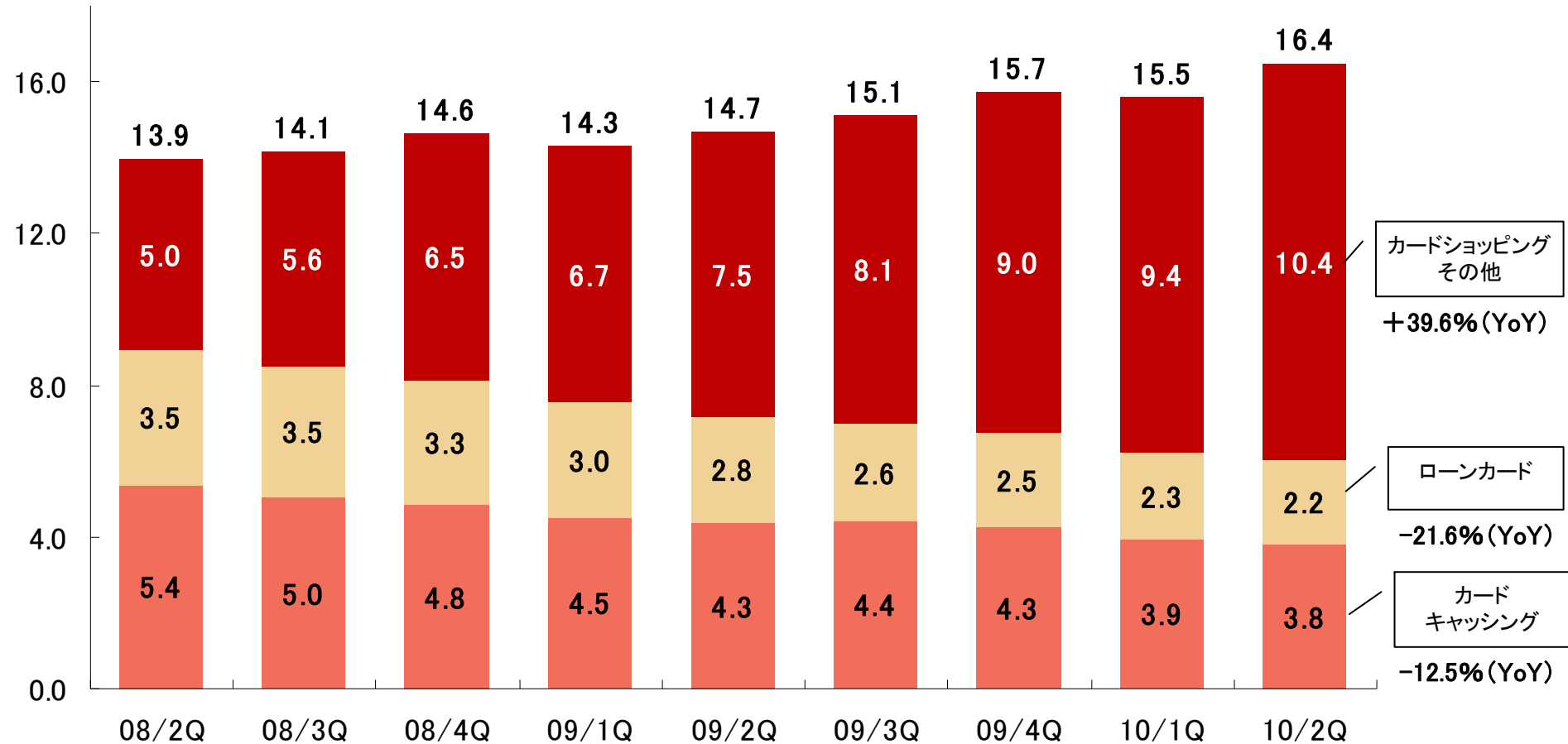


# 楽天KC 売上高構成比の変化



■ 売上構成比は大きく転換、カードショッピングが主体に

(単位:十億円)



\*売上高の内訳は参考資料に掲載



- 同水準の成長を継続すると大手カード会社並みの取扱量に到達

(十億円)				(十億円)	
	2008年度	2009年度	前年度比	2011年度 (予測)	
クレディセゾン	3,891.0	3,844.6	-1.2%	3,753.5	
イオンクレジット	2,030.8	2,186.7	7.7%	2,535.1	
セディナ	1,909.3	1,955.0	2.4%	2,049.8	
楽天KC	518.1	657.5	26.9%	1,208.4	
オリエン트コーポレーション	1,017.8	1,048.0	3.0%	1,111.1	
アプラス	452.9	453.5	0.1%	454.5	

\*2008年度及び2009年度 出典:各社決算資料

\*2011年度試算:各社開示資料に基づき、2009年度の伸び率を2期分乗じて取扱高を試算 (楽天KCにおいては、2010年度 中間決算に年間前年度比を乗じて算出)

## 2 -4 電子マネー事業

■ 楽天グループとの  
連携推進



- 今秋、楽天カードへEdy搭載予定
- 楽天市場でのEdy決済導入に向け準備



■ Edy取扱高増



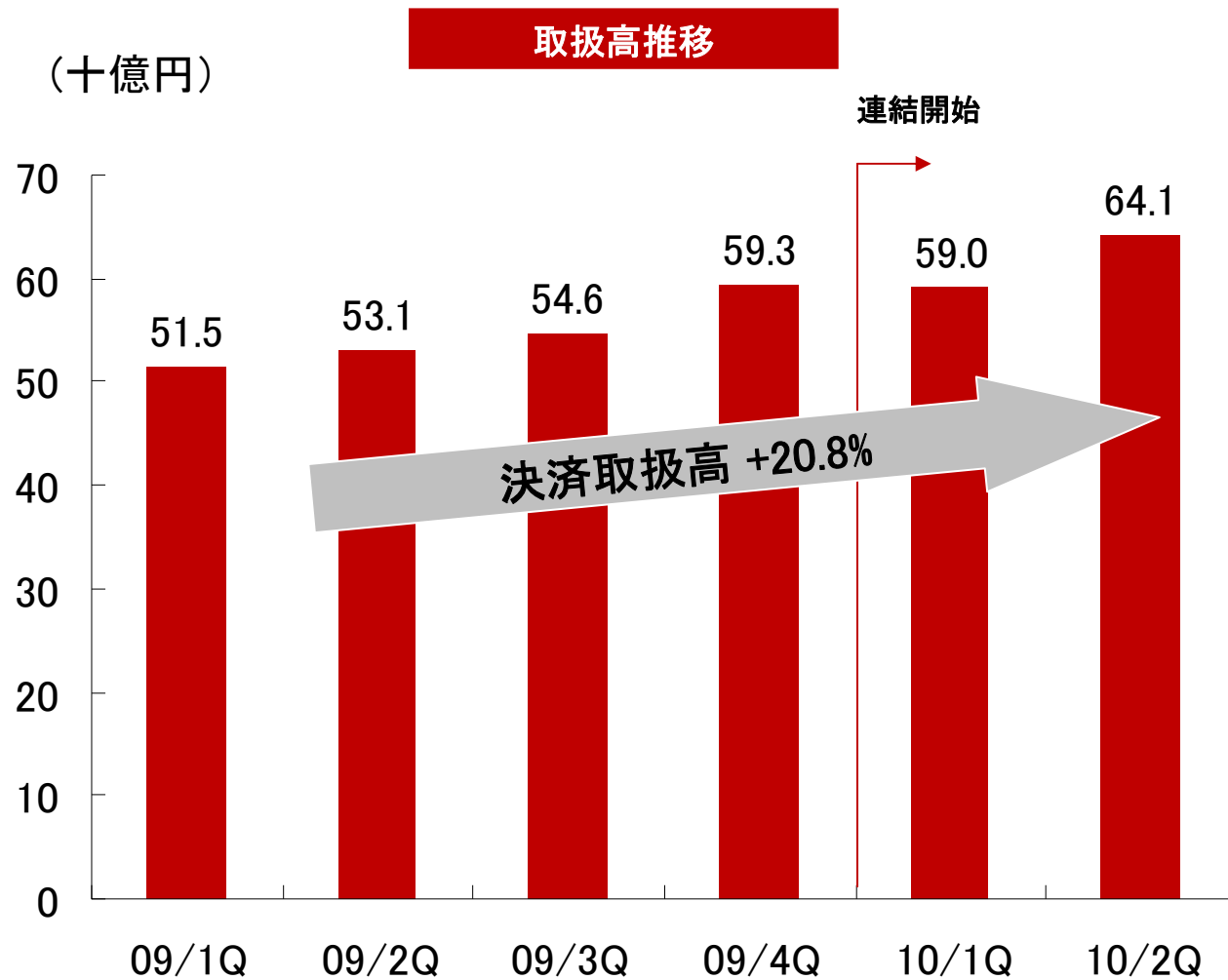
- コンビニエンスストア等でのキャンペーンが奏功、取扱高は成長、前年同期比 +20.8%

■ 利用可能箇所数の  
拡大



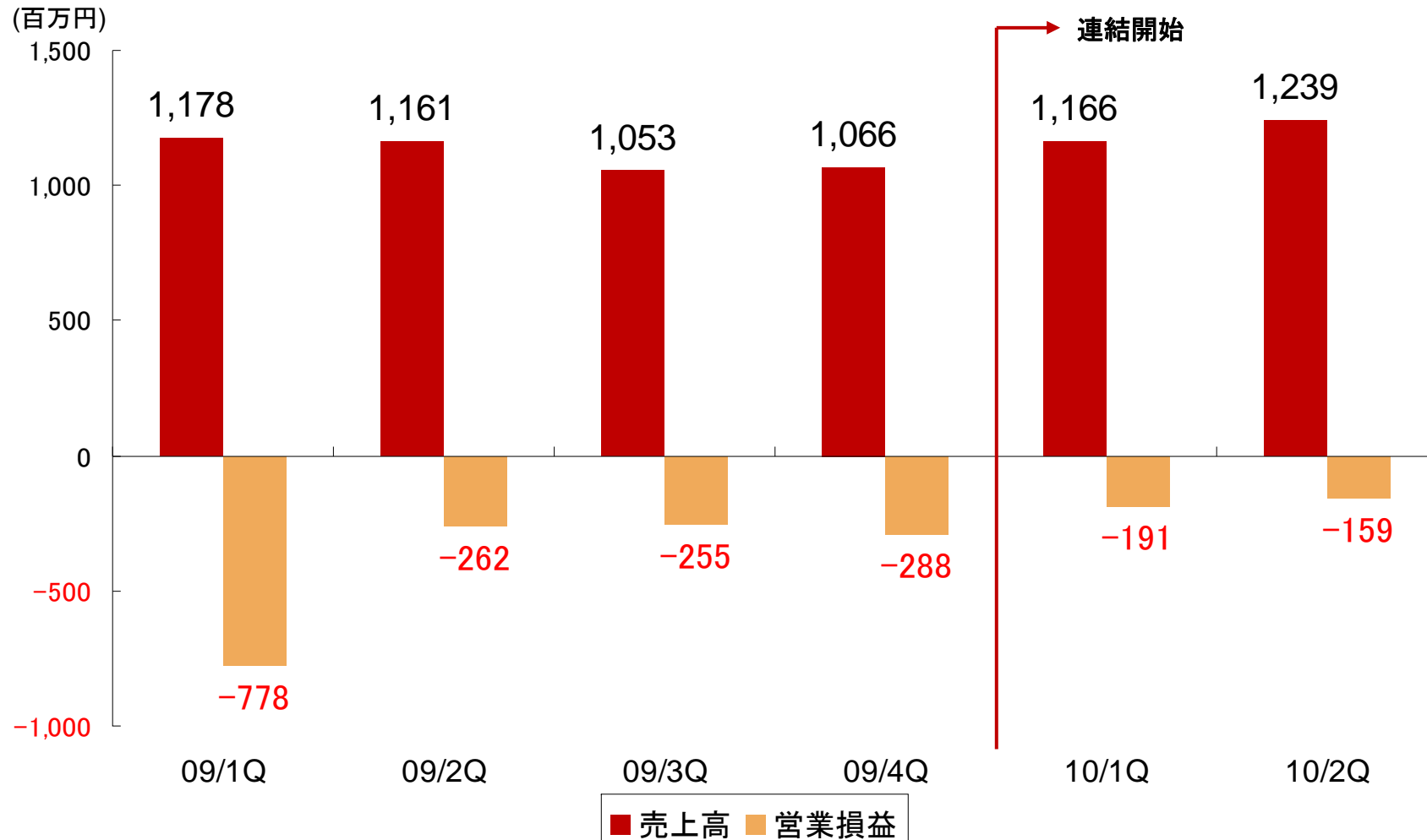
- 利用可能箇所は前年同期比 60.4%増  
約231,000カ所へ拡大(10年6月)

- Edyの決済取扱高は前年同期比20.8%増と順調に増加



## ■ 営業赤字幅は縮小

売上高・営業損益の推移※



※09/4Q迄ビットワレット(株)単体の業績、10/1Q以降は楽天グループの電子マネー事業セグメントの業績(のれん代償却費含む)

**2** -5 銀行事業

■基礎収支\*1は安定的に推移



- 楽天会員IDと連携したロイヤルティプログラム本格稼動
- 楽天グループ内決済の取込みは着々と進む

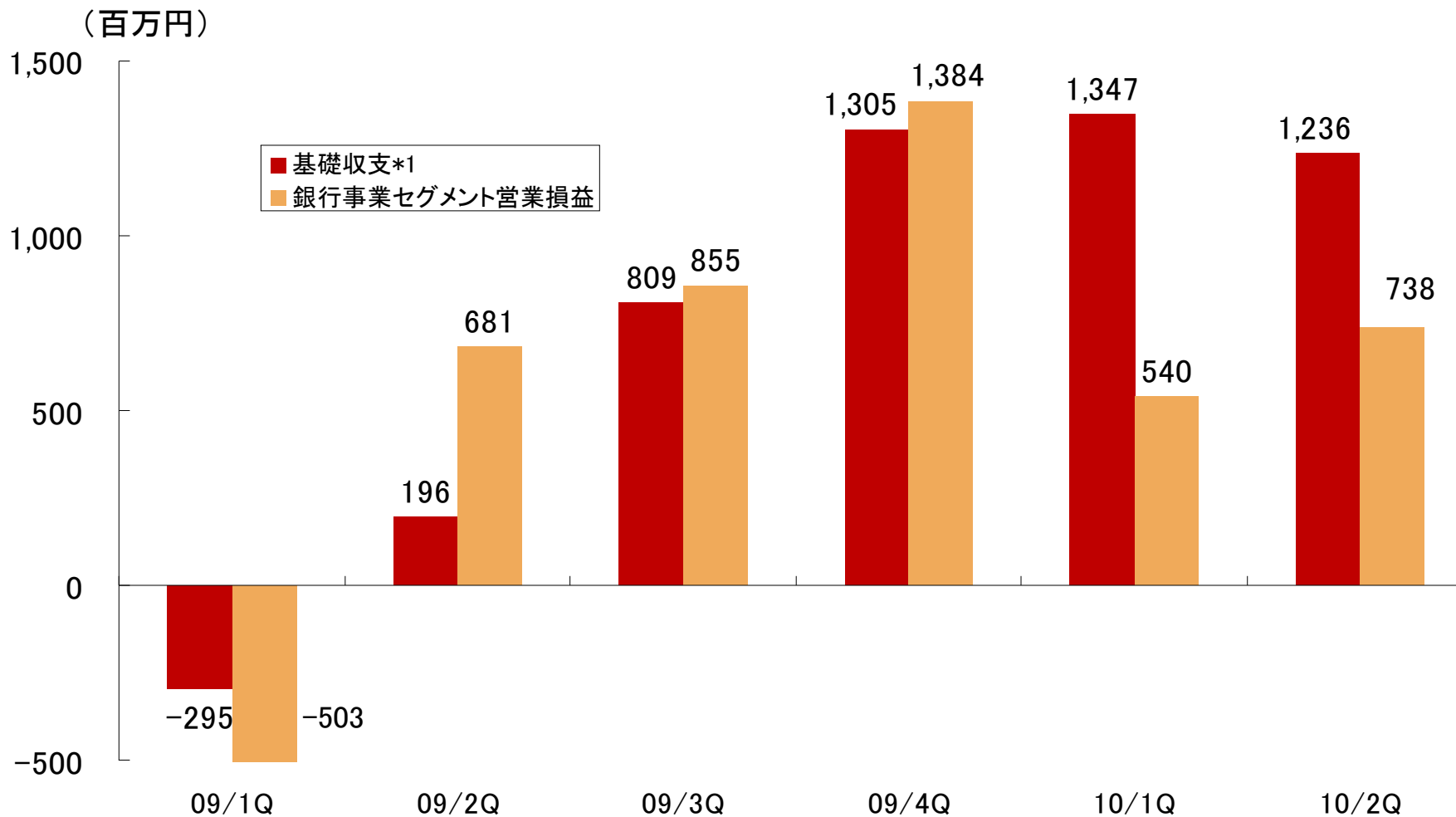
■利用拡大に向けた新たな施策を推進



- 楽天証券との金融商品仲介業務提携開始
- インターネットでの海外送金事業参入を発表

\*1:基礎収支=投資等による一時的な損益以外の本業での収支。経常損益より投資運用の時価変動・売却等により発生した損益を控除したもの。

■商号変更・ロイヤルティプログラム・イントラ統合等に伴う費用等が増加したものの、  
基礎収支は安定的に推移



\*1:基礎収支＝投資等による一時的な損益以外の本業での収支。経常損益より投資運用の時価変動・売却等により発生した損益を控除したもの。

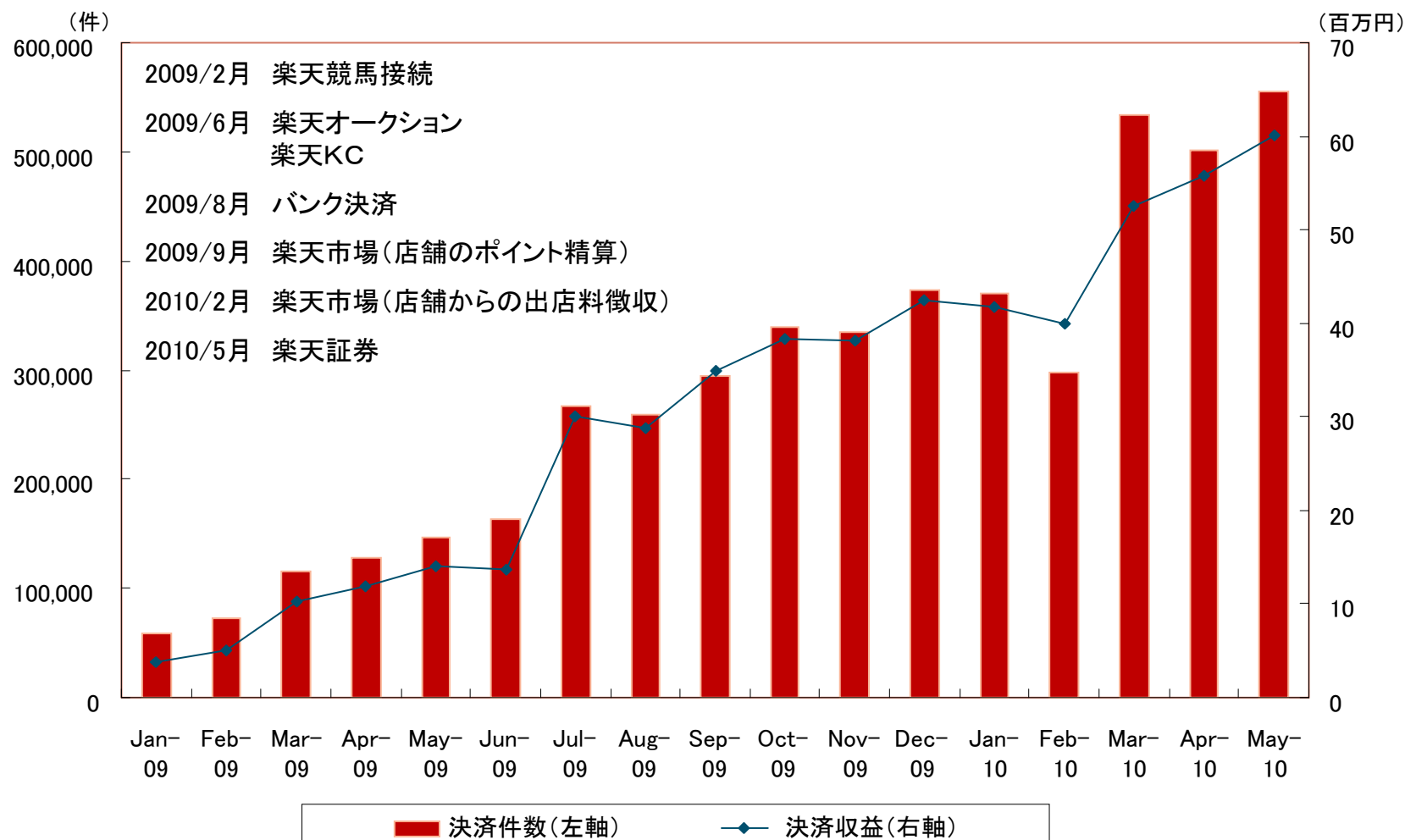


# 楽天銀行 楽天グループの決済取込み状況



## ■ 楽天グループ内の決済取込みは着々と進み、決済件数も順調に増加

### 楽天グループ内決済件数の推移



## 2 -6 証券事業

■ 収益性の向上



- 営業収益63.9億円（前年同期比+5.7%）
- 投資信託及びFXの堅調な収益拡大

■ 新規口座開設数の成長



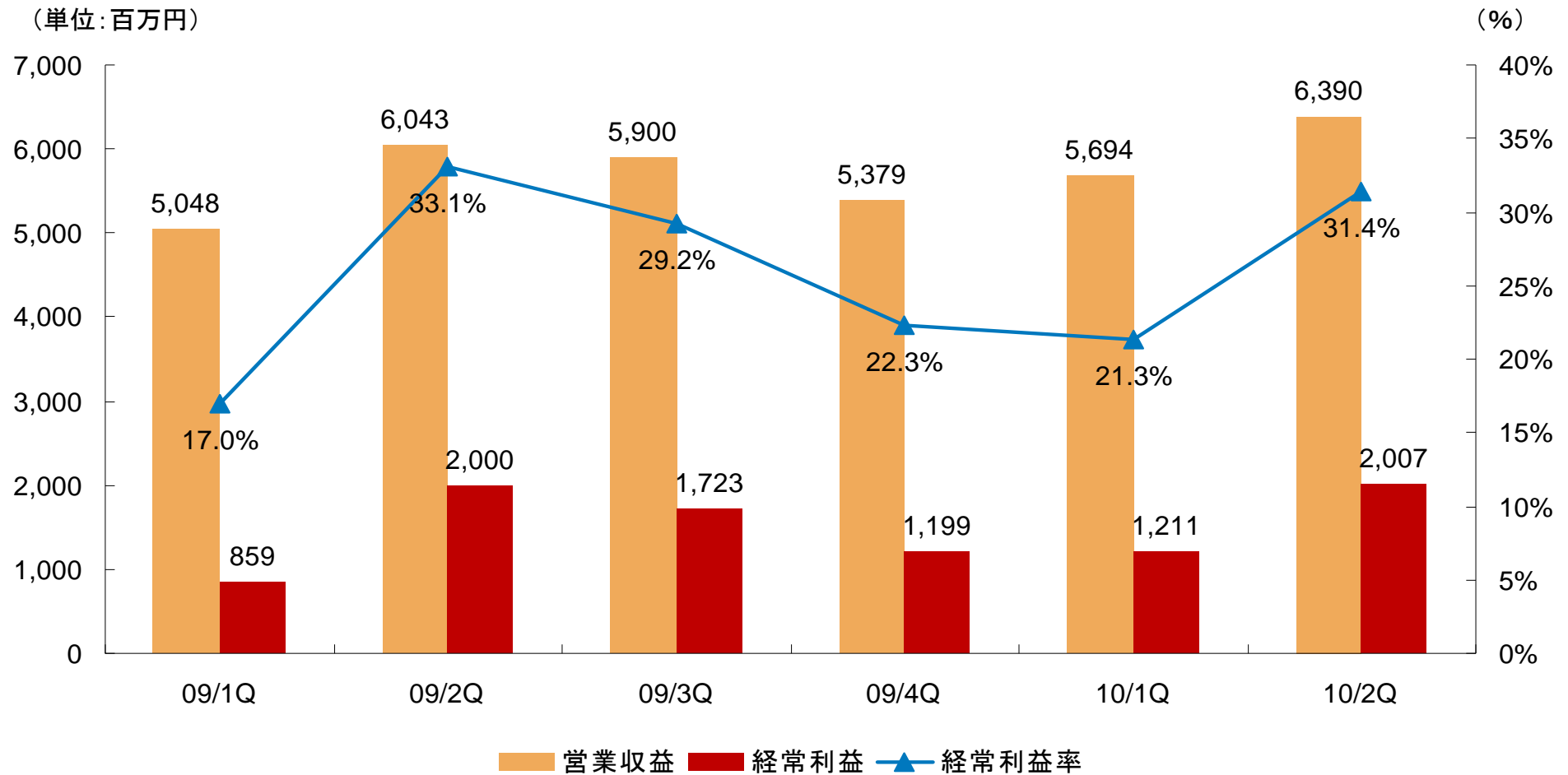
- 新規ユーザーが直ちに収益増に貢献

■ 楽天グループシナジーの強化



- 楽天銀行による証券仲介サービス開始

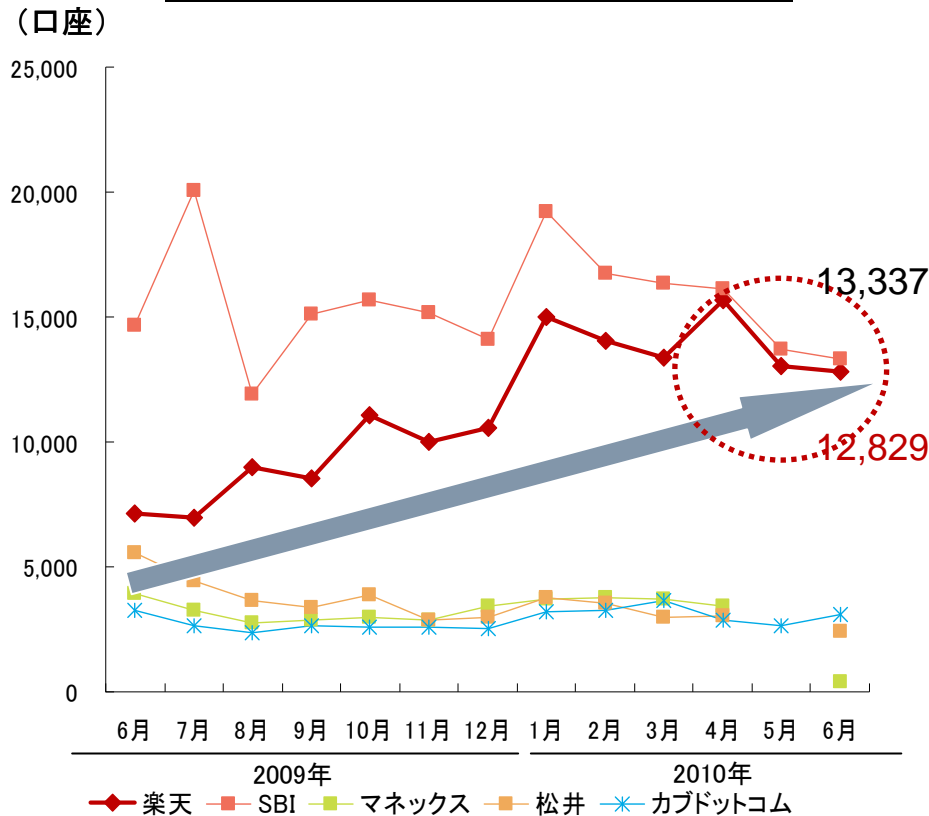
■ 営業収益は+5.7%(前年同期比)、経常利益は+0.4%(同左)で増収増益を確保



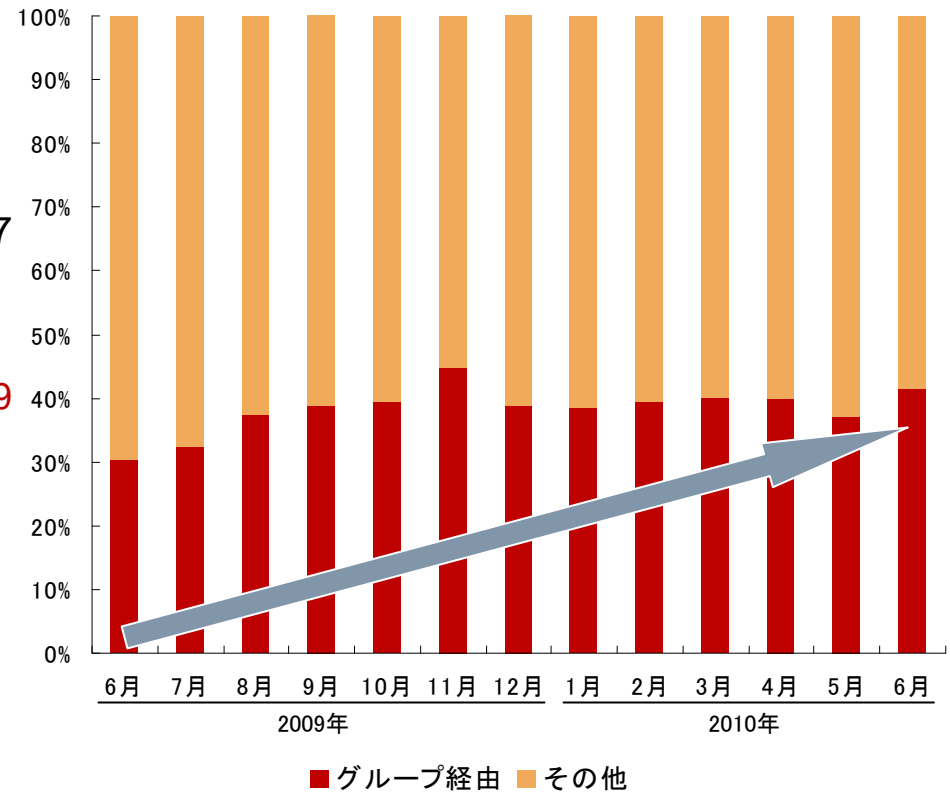
# 楽天証券 新規口座開設数の推移・楽天グループ経由比率 楽天

- 新規口座開設数は業界首位のSBI証券とほぼ同水準
- 新規口座におけるグループ経由獲得比率は40%超と高水準を維持

### ネット証券5社の新規口座開設数の推移



### 楽天証券における新規口座の獲得経路構成比の推移



注: 松井証券の2010年5月は口座洗い替えのため不明。マネックス証券の2010年5月はオリックス証券との統合のため不明

出所: 各社公開情報

出典: 楽天証券におけるデータ分析結果 60

## 参考資料

- 財務の状況
- その他の参考資料

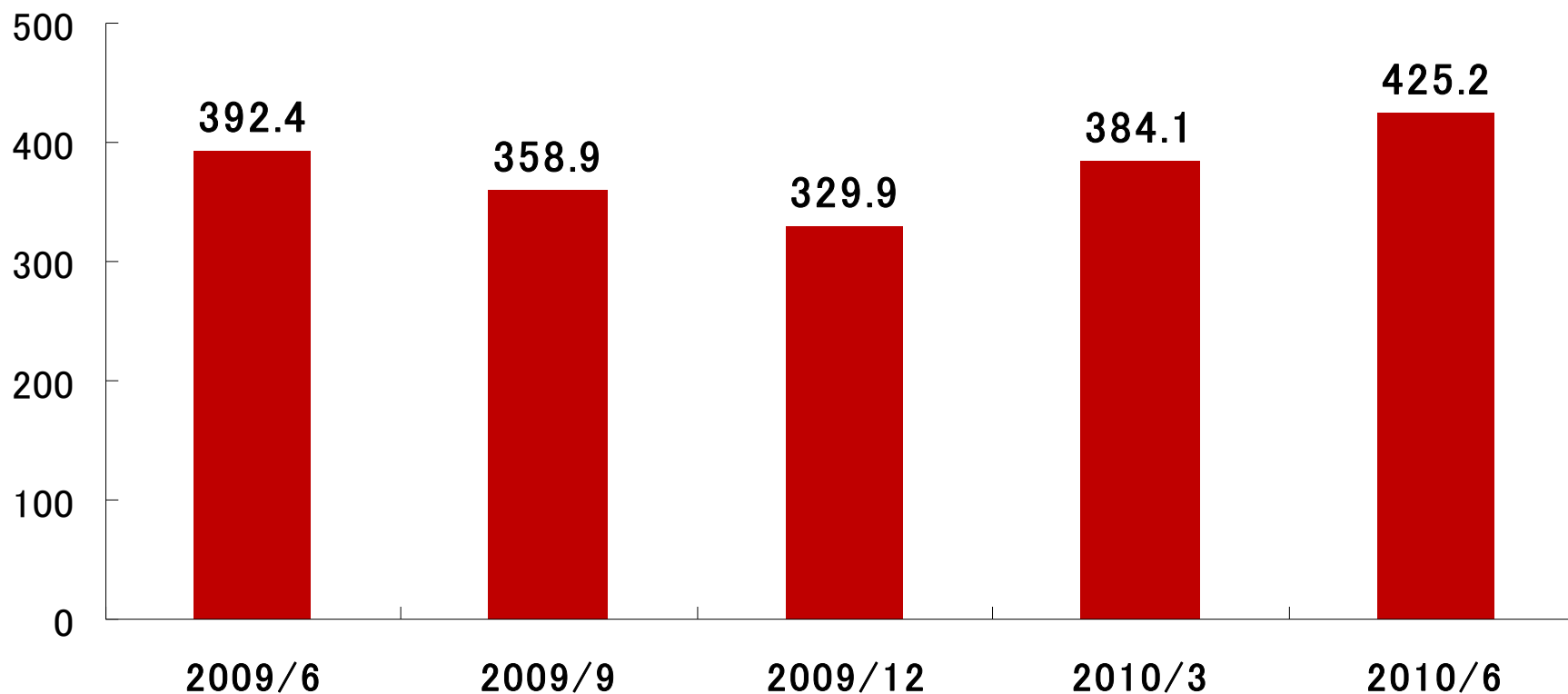
財務の状況

- カードショッピング事業の拡大に伴い、楽天KCにおける借入金増加

## 外部金融機関の負債の推移

(単位:十億円)

内、楽天KCが2,098億円  
(09年12月末比580億円増加)

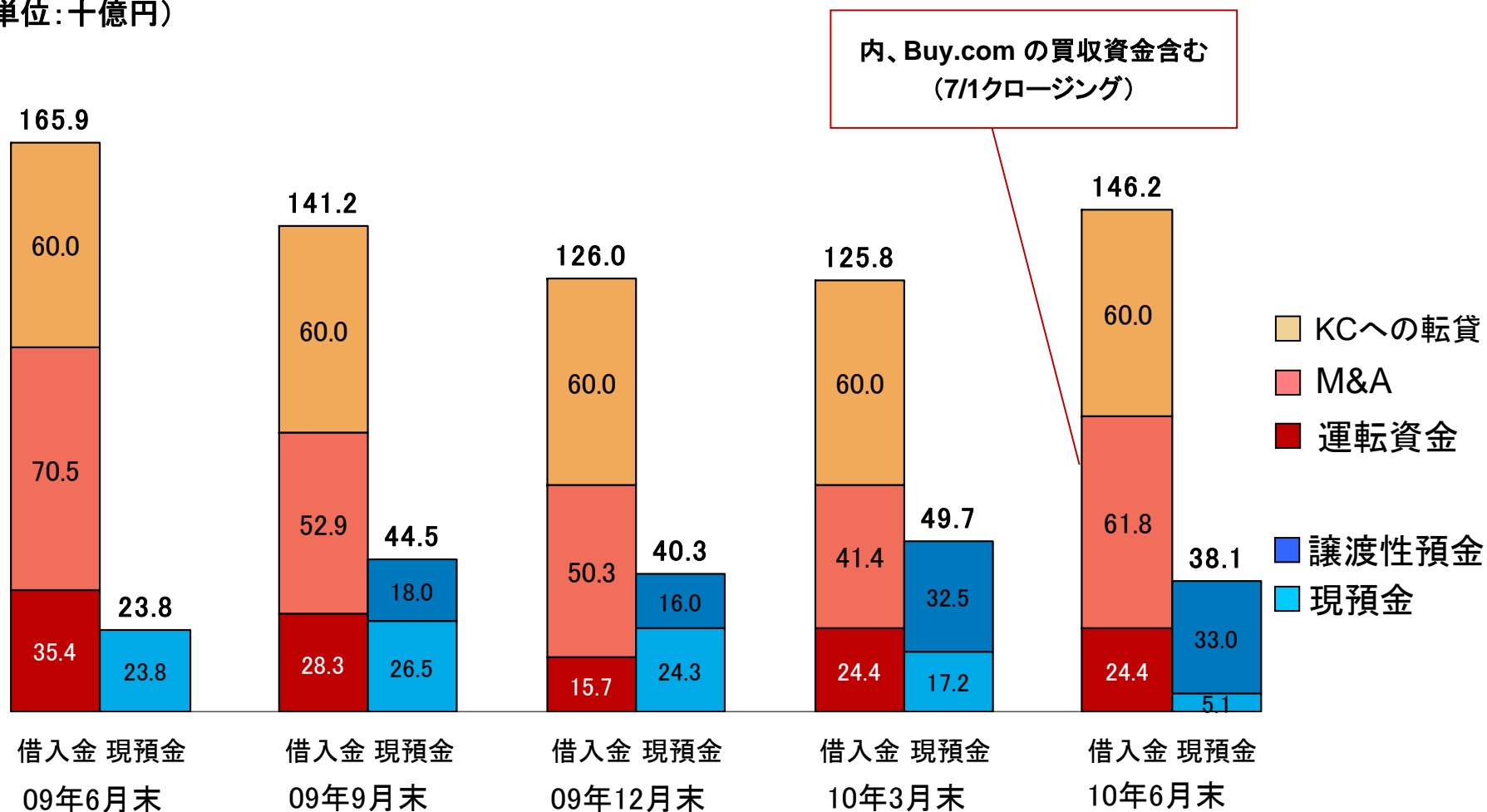


\*: 外部金融機関からの負債 = 社債 + CP + 短期借入金 + 長期借入金



## 楽天(株)の資金使途別の借入金残高及び現預金の推移

(単位:十億円)



# 楽天グループのバランスシート概要(2010年6月末)

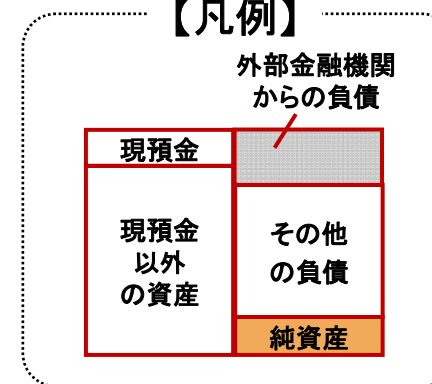


## 楽天(連結)

現預金 129.7	
銀行業に おける 預金 704.8	
外部金融機関 からの負債 425.2	
証券業負債 270.4	
その他負債 282.1	
純資産 230.7	
現預金以外 の資産 1,783.7	
<b>総資産</b> 1,913.4	

(単位:十億円)

### 【凡例】



## 楽天(単体)

5.1	
146.2	
120.8	
272.9	
534.8	
<b>総資産</b> 539.9	

\*楽天証券の借入金の内  
200億円はグループ内から

## 楽天証券

11.8	
74.4	
304.6	
32.0	
381.4	
<b>総資産</b> 411.1	

\*楽天KCの借入金の内  
1,011億円はグループ内から

## 楽天KC

63.7	
310.9	
67.0	
30.4	
339.9	
<b>総資産</b> 408.2	

## 楽天銀行(連結)

19.7	
10.0	
710.3	
28.6	
26.6	
<b>総資産</b> 775.5	

\*楽天(単体)、楽天証券、楽天KC、楽天銀行は連結消去前の数字をベースにしたもので、グループ内取引を含む。

\*:外部金融機関からの負債=社債+CP+短期借入金+長期借入金

貸借対照表 (2010年6月30日)

(単位:十億円、単位未満切捨て)

<b>流動資産</b>	<b>108.8</b>	<b>流動負債</b>	<b>174.0</b>
現金及び預金	5.1	買掛金	2.7
売掛金	26.7	短期借入金	49.3
その他の流動資産	77.5	未払金	13.2
貸倒引当金	△ 0.6	未払法人税等	9.1
		前受金	4.8
		ポイント引当金	10.7
		その他の流動負債	83.9
		<b>固定負債</b>	<b>92.9</b>
		<b>負債合計</b>	<b>266.9</b>
<b>固定資産</b>	<b>431.1</b>	<b>株主資本</b>	<b>271.9</b>
有形固定資産	5.6	資本金	107.6
無形固定資産	11.5	資本剰余金	113.2
投資その他の資産	413.9	利益剰余金	51.0
(内 貸倒引当金)	△ 0.3	自己株式	△ 0.0
(内 投資損失引当金)	△ 1.1	<b>評価・換算差額等</b>	<b>0.2</b>
		<small>    </small> その他の有価証券評価差額	0.6
		繰越ヘッジ損益	△ 0.3
		新株予約権	0.7
		<b>純資産合計</b>	<b>272.9</b>
<b>資産合計</b>	<b>539.9</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>539.9</b>

損益計算書  
(2010年4月1日～6月30日)

(単位:十億円、単位未満切捨て)

売上高	33.1
売上原価	6.9
売上総利益	26.1
販売費及び一般管理費	15.8
人件費	6.4
広告宣伝費／販売促進費	4.2
減価償却費	1.2
通信費／保守費	1.0
委託費／外注費	3.3
その他	△ 0.4
営業利益	10.2
営業外収益	0.8
営業外費用	0.6
経常利益	10.4
特別利益	△ 0.0
特別損失	2.1
<b>税引前当期純利益</b>	<b>8.2</b>
法人税、住民税及び事業税	4.6
法人税等調整額	△ 1.3
<b>当期純利益</b>	<b>4.8</b>

貸借対照表(2010年6月30日)

(単位:十億円)

<b>流動資産</b>	<b>363.9</b>	<b>流動負債</b>	<b>254.3</b>
現金・預金	63.7	信用保証買掛金	2.6
割賦売掛金	275.3	短期借入金	196.9
信用保証売掛金	2.6	その他流動負債	54.8
流動化受益債権	34.3		
その他流動資産	15.1	<b>固定負債</b>	<b>123.3</b>
貸倒引当金	-27.4	長期借入金	113.9
		利息返還損失引当金	8.2
		その他固定負債	1.0
<b>固定資産</b>	<b>44.3</b>	<b>負債合計</b>	<b>377.7</b>
有形固定資産	12.3	<b>株主資本</b>	<b>30.4</b>
土地・建物	11.6	資本金	3.0
その他固定資産	0.6	資本剰余金	41.1
無形固定資産	2.7	利益剰余金	1.9
投資その他	30.7	自己株式	-15.7
貸倒引当金	-1.5	評価・換算差額等	0.0
		<b>純資産合計</b>	<b>30.4</b>
<b>資産合計</b>	<b>408.2</b>	<b>負債・資本合計</b>	<b>408.2</b>

連結貸借対照表(2010年6月30日)

(単位:十億円・未満切捨て)

現金預け金	19.7	預金	710.3
コールローン	71.0	普通預金	302.0
買入金銭債権	184.1	定期預金	343.0
金銭の信託	13.6	その他の預金	65.1
有価証券	354.0	借入金	5.8
投資損失引当金	-	社債	10.0
貸出金	107.1	その他負債	19.3
外国為替	0.3	賞与引当金	0.0
その他資産	22.4	ポイント引当金	0.2
有形固定資産	0.4	偶発損失引当金	0.3
無形固定資産	4.8	特別法上の引当金	0.0
繰延税金資産	0.0	繰延税金負債	2.6
貸倒引当金	-2.4	<b>負債合計</b>	<b>748.8</b>
		資本金	23.4
		資本剰余金	-
		利益剰余金	2.8
		自己株式	-4.1
		<b>株主資本合計</b>	<b>22.2</b>
		その他有価証券評価差額金	4.2
		繰延ヘッジ損益	-
		<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>4.2</b>
		少数株主持分	0.2
		<b>純資産合計</b>	<b>26.6</b>
<b>資産合計</b>	<b>775.5</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>775.5</b>

連結損益計算書  
(2010年4月1日～6月30日)

(単位:十億円・未満切捨て)

経常収益	9.0
資金運用収益	4.3
(貸出金利息)	2.4
(有価証券利息配当金)	1.0
役務取引等収益	3.5
その他業務収益	1.0
その他経常収益	0.1
<b>経常費用</b>	<b>7.9</b>
資金調達費用	0.8
(預金利息)	0.7
役務取引等費用	2.3
その他業務費用	0.2
営業経費	4.1
その他経常費用	0.3
<b>経常損益</b>	<b>1.1</b>
特別利益	0.0
特別損失	0.2
<b>税前損益</b>	<b>0.8</b>
法人税	0.0
法人税等調整額	0.0
少数株主持分損益	-0.0
<b>当期純損益</b>	<b>0.8</b>

# キャッシュ・フローの概要:2010年1月～6月累計(1)



(単位:十億円)

\*金融／非金融の区分は、概算値

開示科目	連結	金融	非金融	その他
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前当期純利益	27.6	5.1	22.5	-
のれん償却額	3.1	1.4	1.6	-
減価償却費	7.8	3.5	4.2	-
銀行業における有価証券評価損益(△は益)	0.7	0.7	-	-
銀行業における有価証券売却損益(△は益)	0.0	0.0	-	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 4.5	△ 4.2	△ 0.3	-
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△ 1.9	△ 1.9	-	-
その他の損益(△は益)	2.7	-	-	2.7
売上債権の増減額(△は増加)	1.2	0.0	1.2	-
割賦売掛金の増減額(△は増加)	△ 14.6	△ 14.6	-	-
資産流動化受益債権の増減額(△は増加)	7.3	7.3	-	-
銀行業における預金の増減額(△は減少)	6.5	6.5	-	-
銀行業におけるコールローンの純増減額(△は増加)	△ 18.0	△ 18.0	-	-
銀行業における貸出金の増減額(△は増加)	△ 8.6	△ 8.6	-	-
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 2.3	△ 0.7	△ 1.6	-
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△ 3.0	△ 4.3	1.3	-
前受金の増減額(△は減少)	1.7	0.1	1.6	-
証券業における営業債権の増減額(△は増加)	△ 31.3	△ 31.3	-	-
証券業における営業債務の増減額(△は減少)	△ 20.2	△ 20.2	-	-
証券業における有価証券担保借入金の増減額(△は減少)	19.8	19.8	-	-
営業貸付金の増減額(△は増加)	△ 2.6	△ 2.6	-	-
その他	7.5	7.2	0.3	-
<b>小計</b>	<b>△ 20.9</b>	<b>△ 54.8</b>	<b>33.8</b>	<b>2.7</b>
営業保証金の支払額	△ 4.3	△ 4.3	-	-
営業保証金の受取額	3.0	3.0	0.0	-
法人税等の支払額	△ 12.6	△ 0.1	△ 12.4	-
その他	△ 0.2	△ 0.2	-	-
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 35.2</b>	<b>△ 56.5</b>	<b>21.3</b>	<b>2.7</b>

# キャッシュ・フローの概要:2010年1月～6月累計(2)



(単位:十億円)  
\*金融/非金融の区分は、概算値

開示科目	連結	金融	非金融	その他
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
銀行業における有価証券の取得による支出	△ 200.9	△ 200.9	-	-
銀行業における有証の売却償還による収入	208.9	208.9	-	-
投資有価証券の買取請求に伴う一部弁済による入金額	8.8	-	8.8	-
子会社株式の取得による支出	△ 17.4	-	△ 17.4	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	7.0	-	7.0	-
有形固定資産の取得による支出	△ 3.1	△ 0.1	△ 2.9	-
無形固定資産の取得による支出	△ 6.9	△ 2.9	△ 4.0	-
その他の支出	△ 6.2	△ 4.4	△ 1.7	-
その他の収入	3.9	2.8	1.0	-
利息及び配当金の受取額	0.5	-	0.5	-
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 5.3</b>	<b>3.3</b>	<b>△ 8.6</b>	<b>-</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の純増減額(△は減少)	62.8	54.3	8.5	-
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	28.9	28.9	-	-
長期借入れによる収入	45.4	22.4	23.0	-
長期借入金の返済による支出	△ 39.9	△ 30.3	△ 9.6	-
社債の償還による支出	△ 6.0	△ 4.0	△ 2.0	-
子会社の自己株式の取得による支出	△ 0.0	△ 0.0	-	-
利息の支払額	△ 0.7	-	△ 0.7	-
少数株主からの払込みによる収入	0.0	-	0.0	-
配当金の支払額	△ 1.3	-	△ 1.3	-
少数株主への配当金の支払額	△ 0.2	△ 0.2	-	-
その他	△ 0.0	△ 0.1	0.1	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>88.7</b>	<b>70.7</b>	<b>18.0</b>	<b>-</b>
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0.5	-	-	△ 0.5
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>47.6</b>	<b>17.5</b>	<b>30.0</b>	<b>-</b>
VI 現金及び現金同等物の期首残高	103.6	-	-	-
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0.6	-	-	-
IX 現金及び現金同等物の期末残高	151.9	-	-	-

その他の参考資料



# 各セグメントと事業との対応表\*1

EC事業
楽天市場*2
ビジネスサービス *2
ゴルフ *2
オート *2
デリバリー *2
パッケージメディア*2
メディアレンタル*2
オークション
ダイニング
チケット
国際ネットマーケティング*6 (旧パフォーマンスマーケティング)
競馬モール*2
物流*2
国際市場統括*2
ネットスーパー
チェックアウト*2
クレジットカード事業
KC

電子マネー事業*4
Edy事業

トラベル事業
トラベル

ポータル・メディア事業
インフォシーク
広告
ADソリューション
ブログ
リサーチ
みんなの就職*3
マリッジ((株)オーネット)
写真館
コンテンツ
ウェディング*4
ツールバー*4
ネットマーケティング*5

証券事業
証券
保険

プロスポーツ事業
プロスポーツ

通信事業
電話(フュージョン・コミュニケーションズ)

銀行事業
銀行(楽天銀行(株))
パーソナルファイナンス (楽天クレジット(株))
toto事業*5

\*1: 一部の新規事業を除く、2010年6月末  
 \*2: 楽天(株)のEC事業  
 \*3: 2009/3Qより組織変更  
 \*4: 2010/1Qより新設  
 \*5: 2010/2Qより新設  
 \*6: 2010/2Qより組織変更

## のれん償却費の内訳



(単位:百万円)

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	主な対象会社
EC事業	542	542	691	599	832	581	LinkShare トラフィックゲート FreeCause
カード事業	246	246	246	290	246	246	楽天KCグループ
電子マネー	-	-	-	-	30	58	ビットワレット
銀行事業	175	308	293	273	282	429	楽天銀行
ポータル・メディア事業	44	78	61	61	81	61	オーネット、ショウタイム、楽天写真館
トラベル事業	12	12	12	12	12	12	楽天トラベル 楽天バスサービス
証券事業	95	95	189	95	95	99	楽天証券 ドットコモディティ 楽天投信投資顧問
プロスポーツ事業	-0	-0	-0	-0	-0	-0	楽天スポーツプロパティーズ
通信事業	-4	-6	-2	-5	-5	-5	フュージョン・コミュニケーションズ
連結	1,111	1,275	1,492	1,327	1,575	1,483	

\*: 連結財務諸表上は販売費および一般管理費に含む

## 設備投資\*の実績

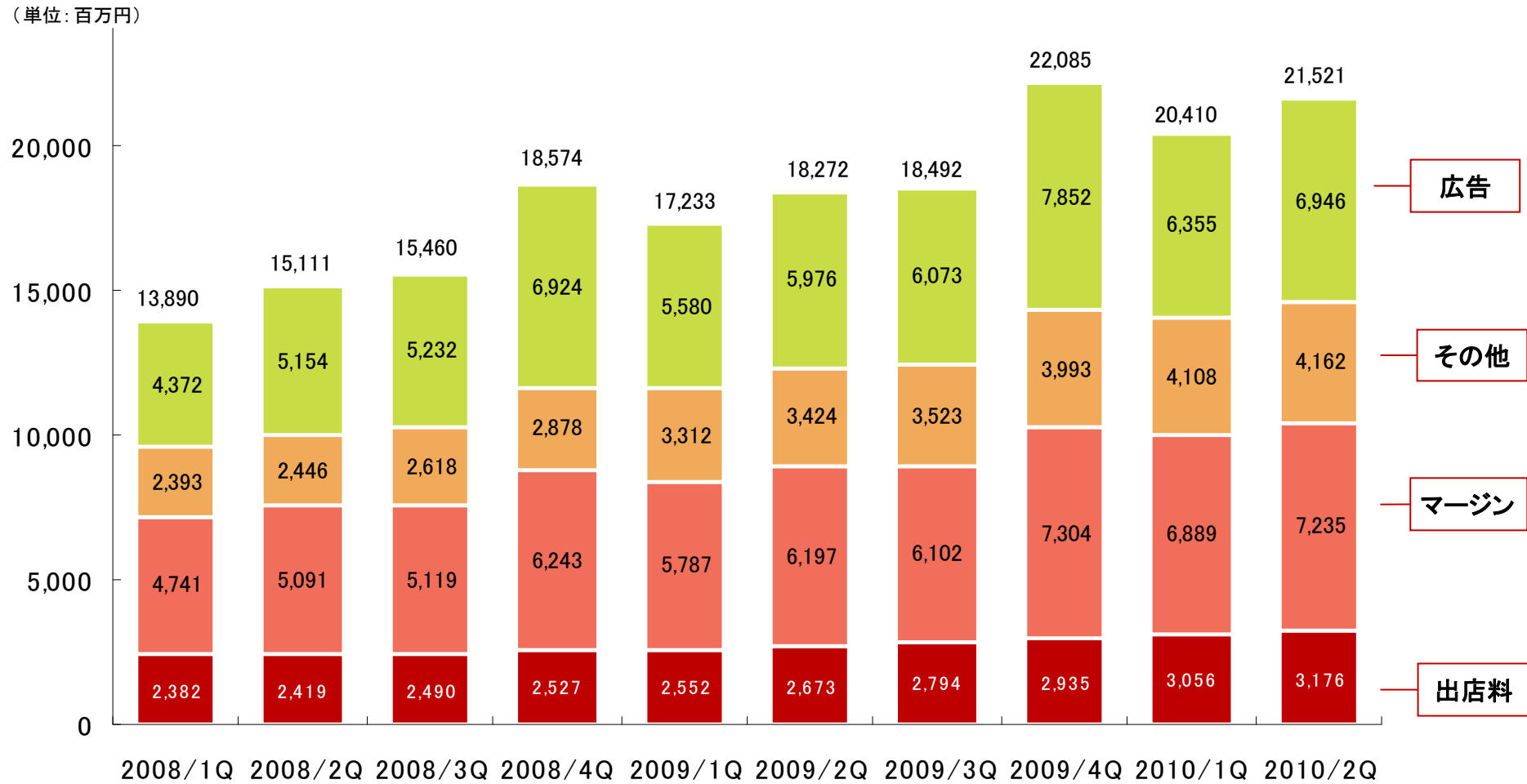
(十億円)

		2009年				2010年		2010年
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		2Q
		稼働ベース				稼働ベース	取得ベース	取得ベース
単体	ハードウェア	0.14	0.09	0.17	0.17	1.15	1.59	0.83
	ソフトウェア	0.63	0.90	0.76	1.25	1.13	1.39	1.48
	合計	0.77	1.00	0.94	1.42	2.28	2.98	2.32
連結	ハードウェア	0.99	0.59	0.42	0.45	1.87	2.81	1.26
	ソフトウェア	2.69	1.61	2.38	2.70	3.12	3.47	3.10
	合計	3.68	2.21	2.81	3.15	5.00	6.29	4.37

\*: 2009年4Q以前: 稼働ベース(楽天野球団除く)で集計

\*: 2010年1Q以降: 取得ベース(楽天野球団含む)で集計

# 楽天市場 売上高構成の推移



損益計算書 概要

(単位:十億円)

	2009 (4-6) 前年同四半期	2010 (1-3) 前四半期	2010(4-6) 当四半期
営業収益	14.6	15.5	16.4
営業費用	13.8	15.2	16.0
販売費及び一般管理費	11.9	13.2	14.2
金融費用	1.8	1.9	1.8
営業利益	0.8	0.3	0.4
営業外損益	0.0	0.0	0.0
経常利益	0.8	0.3	0.4
特別損益	-0.6	-0.1	0.0
税引前純利益	0.2	0.2	0.4
法人税等調整額	-1.0	-1.0	0.2
四半期純損益	1.6	1.2	0.1
流動化影響前の経常利益	1.3	0.4	0.4

(単位:百万円)

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q		
						実績	構成比	前年同四半期比
<b>営業収益</b>								
総合あっせん	4,179	4,596	4,996	5,830	6,205	6,995	42.4%	52.1%
カードショッピング	4,138	4,561	4,965	5,803	6,180	6,971	42.3%	52.8%
その他	41	35	30	27	25	23	0.1%	- 31.2%
融資	8,306	7,720	7,303	6,840	6,347	6,056	36.8%	- 21.5%
カードキャッシング	(7,573)	(7,211)	(7,005)	(6,793)	(6,233)	(6,046)	36.7%	- 16.1%
ローンカード	5,144	4,773	4,549	4,267	3,949	3,804	23.1%	- 20.3%
(4,502)	(4,346)	(4,403)	(4,267)	(3,949)	(3,804)	(3,804)	23.1%	- 12.4%
ローンカード	3,121	2,911	2,721	2,542	2,371	2,228	13.5%	- 23.4%
(3,031)	(2,829)	(2,569)	(2,496)	(2,257)	(2,217)	(2,217)	13.5%	- 21.6%
その他融資	39	35	32	29	26	23	0.1%	- 33.0%
個品あっせん	0	0	0	0	0	0	-	-
信用保証	279	264	255	247	240	231	1.4%	- 12.6%
その他	2,230	2,553	2,830	2,834	2,890	3,159	19.2%	23.7%
金融収益	8	34	7	17	9	36	0.2%	6.7%
営業収益合計	15,005	15,169	15,394	15,771	15,694	16,479	100.0%	8.6%
	(14,271)	(14,660)	(15,096)	(15,725)	(15,579)	(16,468)	99.9%	12.3%
<b>営業費用</b>								
人件費	1,464	1,430	1,477	1,469	1,467	1,508	9.4%	5.5%
一般経費	6,142	6,500	6,628	7,505	8,412	8,961	55.9%	37.8%
金融費用	2,175	1,881	1,883	1,744	1,968	1,834	11.4%	- 2.5%
貸倒関連費用	3,347	4,007	4,025	3,738	3,402	3,743	23.3%	- 6.5%
利息返還関連費用	0	0	0	0	0	0	-	-
キャッシュアウト分	0	0	0	0	0	0	-	-
債権充当分	0	0	0	0	0	0	-	-
営業費用合計	13,129	13,820	14,015	14,458	15,250	16,048	100.0%	16.1%
営業利益	1,142	840	1,080	1,267	329	420	-	- 49.9%

※( )は流動化時価評価損益を含めた営業収益=会計上数値

■取扱高内訳

(単位:百万円)

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q		
						実績	構成比	前年同四半期比
総合あっせん	140,415	156,316	167,515	195,541	208,422	238,919	91.7%	52.8%
カードショッピング	139,859	155,776	166,940	194,981	207,821	238,311	91.4%	52.9%
その他	555	539	574	559	601	607	0.2%	12.7%
融資	21,147	20,154	19,558	18,948	18,613	17,410	6.7%	-13.6%
カードキャッシング	14,782	14,369	14,057	13,915	13,837	13,569	5.2%	-5.5%
ローンカード	6,364	5,785	5,501	5,033	4,775	3,841	1.5%	-33.6%
個品あっせん	11	14	7	5	4	5	0.0%	-64.5%
信用保証	1,189	1,026	1,077	1,029	1,139	867	0.3%	-15.4%
その他	1,677	2,387	3,265	3,456	3,443	3,408	1.3%	42.7%
取扱高合計	164,440	179,900	191,423	218,981	231,623	260,610	100.0%	44.8%

■カード有効会員数

(単位:万人)

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	
						実績	前年同四半期比
クレジットカード	385	409	429	448	480	515	25.8%
ローンカード	38	37	36	35	34	32	-12.2%

(単位: 百万円)

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q		
						実績	構成比	前年同四半期比
総合あっせん	97,522	107,929	114,591	135,686	143,922	160,499	42.8%	48.7%
カードショッピング	95,755	106,462	113,368	134,639	143,025	159,717	42.6%	50.0%
カードショッピング流動化	0	29,540	69,562	75,786	72,969	87,961	23.5%	-
(内、オフバランス流動化債権)	(0)	( 100)	( 38,100)	( 42,626)	( 38,557)	(52,763)	14.1%	-
(内、オンバランス流動化債権)	(0)	(29,440)	(31,462)	(33,159)	(34,411)	(35,197)	9.4%	-
カードショッピングリボ(元本)	44,067	49,331	55,114	63,168	71,381	79,989	21.3%	62.1%
その他	1,767	1,467	1,222	1,047	896	781	0.2%	- 46.7%
融資	211,111	204,122	197,810	191,238	186,075	179,294	47.9%	- 12.1%
カードキャッシング	95,546	91,395	87,790	83,384	80,687	76,589	20.5%	- 16.1%
(内、オフバランス流動化債権)	(48,804)	(26,303)	(0)	(0)	(0)	(0)	0.0%	- 100.0%
ローンカード	76,353	72,029	67,823	62,930	59,103	54,369	14.5%	- 24.5%
(内、オフバランス流動化債権)	(27,912)	( 26,651)	( 19,515)	( 18,244)	( 9,048)	(9,775)	2.6%	-
(内、オンバランス流動化債権)	(26,906)	( 25,414)	( 26,277)	( 25,322)	( 23,838)	(22,337)	6.0%	-
その他融資	39,210	40,697	42,196	44,922	46,284	48,336	12.9%	18.7%
個品あっせん	1,193	1,111	1,046	990	947	887	0.2%	- 20.1%
信用保証	38,613	36,945	35,782	34,437	33,542	32,254	8.6%	- 12.6%
(内、オフバランス)	(35,276)	(33,815)	(32,801)	(31,603)	(30,822)	(29,618)	7.9%	- 12.4%
その他(オフバランス)	5,895	4,720	3,919	3,102	2,433	1,866	0.5%	- 60.4%
営業債権残高合計(オフバランス含む)	354,336	354,830	353,150	365,455	366,921	374,803	100.0%	5.6%
(貸借対照表表示残高)	236,447	263,239	258,812	269,877	286,059	280,779	74.9%	6.6%



流込残高

(単位:百万円)

	09/Q2			10/Q2			前年同四半期比		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月	4月	5月	6月
当月未収*	3,718	3,851	3,334	3,155	3,582	3,263	-563	-269	-71
未収1→2	3,199	2,779	2,621	2,301	2,251	2,221	-898	-528	-400
未収2→3	2,750	2,907	2,464	2,000	2,021	1,935	-750	-886	-529
未収3→4	2,307	2,536	2,638	1,719	1,750	1,727	-588	-786	-911

\*: 当月未収・・・請求時に口座から引落としができなかった契約の残高。そのまま一ヶ月経過すれば未収1となる。

# 楽天KC 債務者区分別債権及び貸倒関連費用

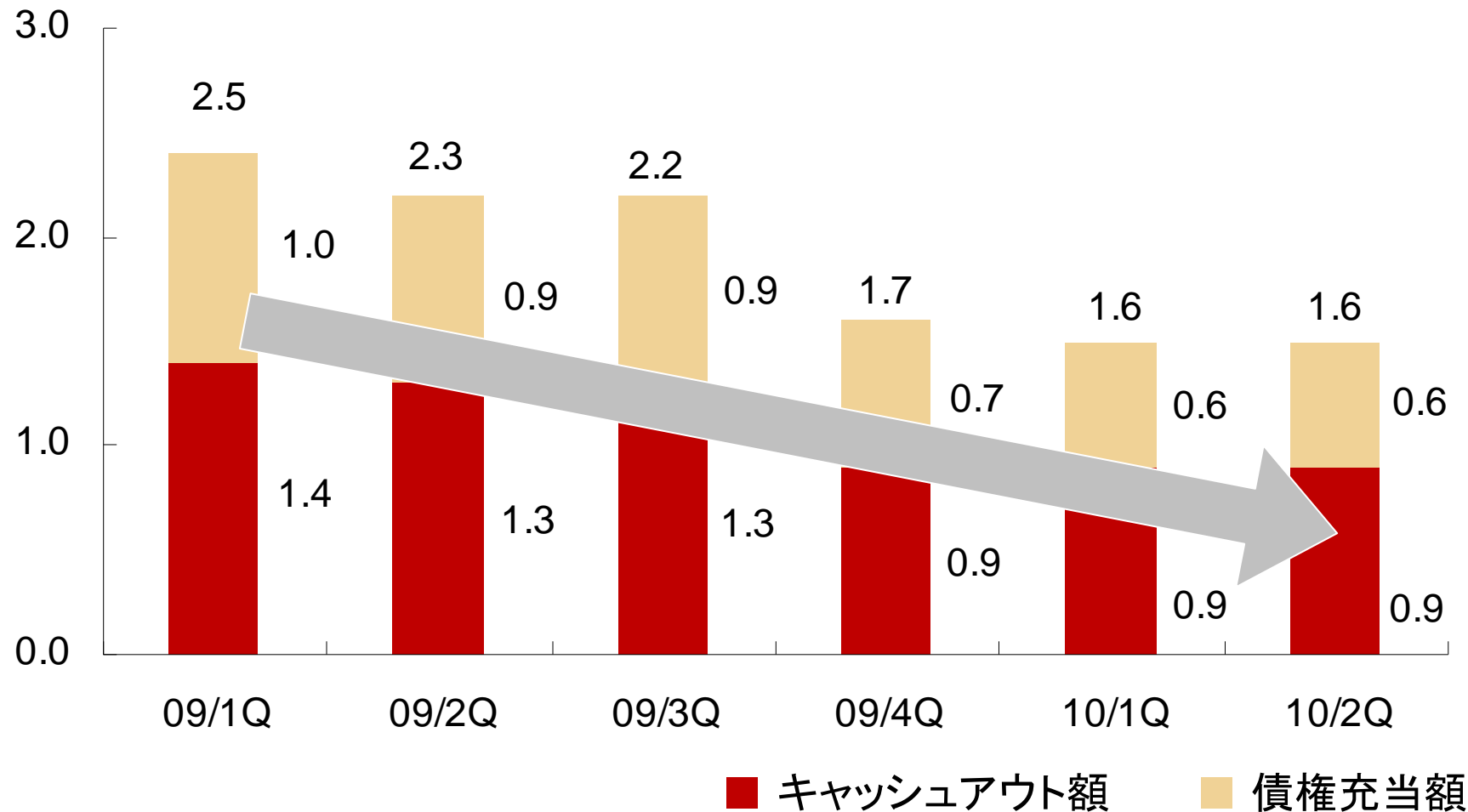


(単位:百万円)

	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6
破綻先	16	16	16	16	16	17
実質破綻先	35,568	34,922	33,688	32,868	31,388	28,639
破綻懸念先	8,362	8,329	8,588	6,729	6,005	5,438
要注意先	6,116	6,391	5,452	4,582	4,693	4,520
正常先	266,613	268,856	269,578	286,038	290,331	302,671
小計	316,675	318,514	317,322	330,233	332,433	341,285
有担保	5,789	5,627	5,623	5,508	5,331	5,238
合計	322,464	324,141	322,945	335,741	337,764	346,523
貸倒引当率	10.85%	10.48%	10.11%	9.40%	8.95%	8.37%
債権充当含まず	6.82%	6.77%	6.68%	6.34%	6.11%	5.79%
貸倒償却額(利息返還を除く)	4,770	5,024	5,338	4,819	4,740	4,983
貸倒引当	-357	-70	-438	-306	-652	-600
貸倒引当金 残高	34,980	33,964	32,638	31,561	30,228	28,996
債権充当含まず	22,002	21,952	21,561	21,284	20,636	20,064
貸倒関連費用	3,347	4,007	4,025	3,738	3,403	3,743
貸倒償却率	1.48%	1.55%	1.65%	1.44%	1.40%	1.44%

■ 過払い返還請求の返還額\*が減少、受付ベースの金額でも低下が続く

(単位:十億円)



\* 請求によるキャッシュアウト額及び債権充当(元本免除)額を含む。08/1Q以降、引当金の目的取崩しとして処理し、PL上の費用計上はゼロ

■ 利息返還額及び債権充当額は減少傾向

(単位:十億円)

		09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q
利息返還引当金	過払い返還請求に伴う「キャッシュアウト分」	13.8	12.5	11.1	10.2	9.2	8.2
	過払い返還請求に伴う「債権充当分」	12.9	12.0	11.0	10.2	9.5	8.9
	上記以外の貸倒引当金	22.0	21.9	21.6	21.2	20.6	20.0
貸倒引当金 計		34.9	33.9	32.6	31.5	30.2	28.9
利息返還引当金+貸倒引当金		48.7	46.4	43.7	41.8	39.5	37.2

過払い関連引当金  
172億円

2.6年分\*1

過払い返還請求に伴う返還額等\*2

(単位:十億円)

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q
キャッシュアウト額	1.4	1.3	1.3	0.9	0.9	0.9
債権充当額	1.0	0.9	0.9	0.7	0.6	0.6
利息返還実績 計	2.5	2.3	2.2	1.7	1.6	1.6

\*1: 過払い関連の引当金 ÷ (直近四半期の過払い返還請求に伴うキャッシュアウト額及び債権充当額 × 4)

\*2: 08/1Q以降、引当金の目的取崩しとして処理し、費用計上はゼロ

(単位:百万円)

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q
決済事業	1,523	1,222	1,229	1,217	1,644	1,554
カード事業	56	21	282	405	483	400
金融商品事業	455	484	470	480	488	632
その他	16	-8	23	47	95	148
①手数料関連収支	2,051	1,720	2,005	2,150	2,711	2,735
②運用関連収支	673	966	1,302	1,510	1,567	1,519
③営業経費	3,020	2,766	2,835	2,808	2,962	3,206
基礎収支* <sup>1</sup> (ローン事業を除く)	-295	-79	472	853	1,316	1,047
ローン事業基礎収支	-	275	336	452	31	188
基礎収支合計 (A)	-295	196	809	1,305	1,347	1,236
非基礎収支* <sup>2</sup> (B)	1,432	-164	-1,380	59	-407	-127
経常利益 (A+B)	1,136	31	-571	1,365	939	1,108
連結調整差額* <sup>3</sup>	-2,009 <sup>*4</sup>	487 <sup>*5</sup>	1,280 <sup>*6</sup>	-124 <sup>*7</sup>	-465 <sup>*8</sup>	-495 <sup>*9</sup>

\*1:基礎収支＝投資等による一時的な損益以外の本業での収支。経常損益より投資運用の時価変動・売却等により発生した損益を控除したものの。

\*2:非基礎収支＝投資運用の時価変動・売却等により発生した損益等による収支。

\*3:楽天銀行(連結)の経常利益と楽天グループ銀行事業セグメントにおける営業利益との差額。

\*4:09/1Qの連結調整差額の内訳＝一過性の調整-9.3億円、のれん償却-1.7億円、経常費用から特別損失への振替3.8億円、有価証券取得簿価差異による連結調整-12.8億円

\*5:09/2Qの連結調整差額の内訳＝のれん償却-3.0億円、有価証券取得簿価差異による連結調整3.7億円、内部取引等その他連結調整4.2億円

\*6:09/3Qの連結調整差額の内訳＝のれん償却-2.9億円、有価証券取得簿価差異による連結調整9.4億円、内部取引等その他連結調整6.2億円

\*7:09/4Qの連結調整差額の内訳＝のれん償却-2.7億円、有価証券取得簿価差異による連結調整0.4億円、内部取引等その他連結調整1.0億円

\*8:10/1Qの連結調整差額の内訳＝のれん償却-2.8億円、有価証券取得簿価差異その他連結調整-1.8億円

\*9:10/2Qの連結調整差額の内訳＝のれん償却-4.2億円、有価証券取得簿価差異その他連結調整-0.7億円

# 楽天銀行(単体) 運用資産及び預金の状況



(単位:十億円)

	2009/12末 時価残高	2010/6末 時価残高	増減額	引当金	含み損益 (連結基準)	含み損益 (楽天銀行基準)
<b>国債・地方債・公社債</b>	<b>358.9</b>	<b>330.0</b>	<b>-28.8</b>	<b>0.0</b>	<b>3.3</b>	<b>6.6</b>
国債	213.1	159.3	-53.7	-	3.6	7.3
その他* <sup>1</sup>	145.8	170.6	24.8	0.0	-0.3	-0.7
<b>貸出金</b>	<b>95.1</b>	<b>105.2</b>	<b>10.0</b>	<b>1.0</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>株式等</b>	<b>1.4</b>	<b>1.0</b>	<b>-0.4</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>	<b>-0.0</b>
<b>証券化(貸付債権)</b>	<b>173.5</b>	<b>186.9</b>	<b>13.4</b>	<b>0.0</b>	<b>0.4</b>	<b>0.4</b>
<b>ファンド等</b>	<b>9.4</b>	<b>7.4</b>	<b>-1.9</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>	<b>0.1</b>
ヘッジファンド	5.7	4.0	-1.7	-	-0.0	0.0
その他	3.7	3.4	-0.2	-	0.0	0.0
<b>証券化(不動産)</b>	<b>30.1</b>	<b>22.0</b>	<b>-8.1</b>	<b>1.3</b>	<b>-0.4</b>	<b>-0.9</b>
私募ファンド* <sup>2</sup>	13.4	6.7	-6.6	1.3	-0.1	-0.1
CMBS(時価有)	16.7	15.2	-1.5	-	-0.2	-0.7
<b>CDO*<sup>3</sup></b>	<b>3.9</b>	<b>4.4</b>	<b>0.4</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>	<b>-0.0</b>
<b>合計</b>	<b>672.6</b>	<b>657.2</b>	<b>-15.4</b>	<b>2.4</b>	<b>3.3</b>	<b>6.2</b>

\*1: 国債・地方債・公社債のその他には、政府保証債、地方債、公社公団債等を含む

\*2: 2010年4月より一部時価評価を適用

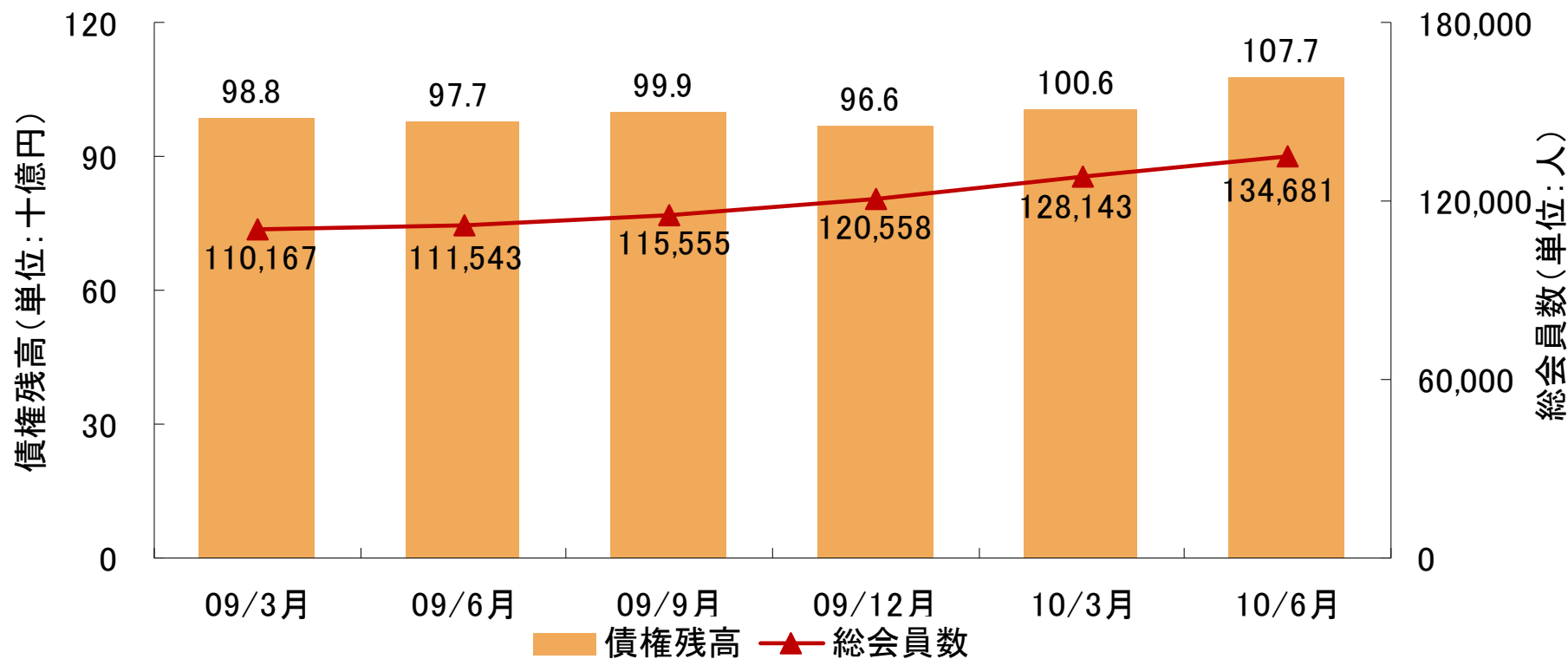
(単位:十億円)

	2009/12末残高	2010/6末残高	増減額
<b>預金残高*<sup>1</sup>合計</b>	<b>701.7</b>	<b>710.8</b>	<b>9.0</b>
普通預金	285.7	302.5	16.7
定期預金	350.2	343.0	-7.1
その他預金* <sup>2</sup>	65.7	65.1	-0.5

\*1: 楽天銀行(単体)の預金残高を記載

\*2: その他預金には別段預金その他、外貨預金等を含む

# 楽天銀行 カードローン『楽天銀行スーパーローン(旧マイワン)』 債権残高\*1の推移



	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6
貸倒引当残高率*2	2.77%	2.85%	2.91%	3.02%	2.88%	2.79%

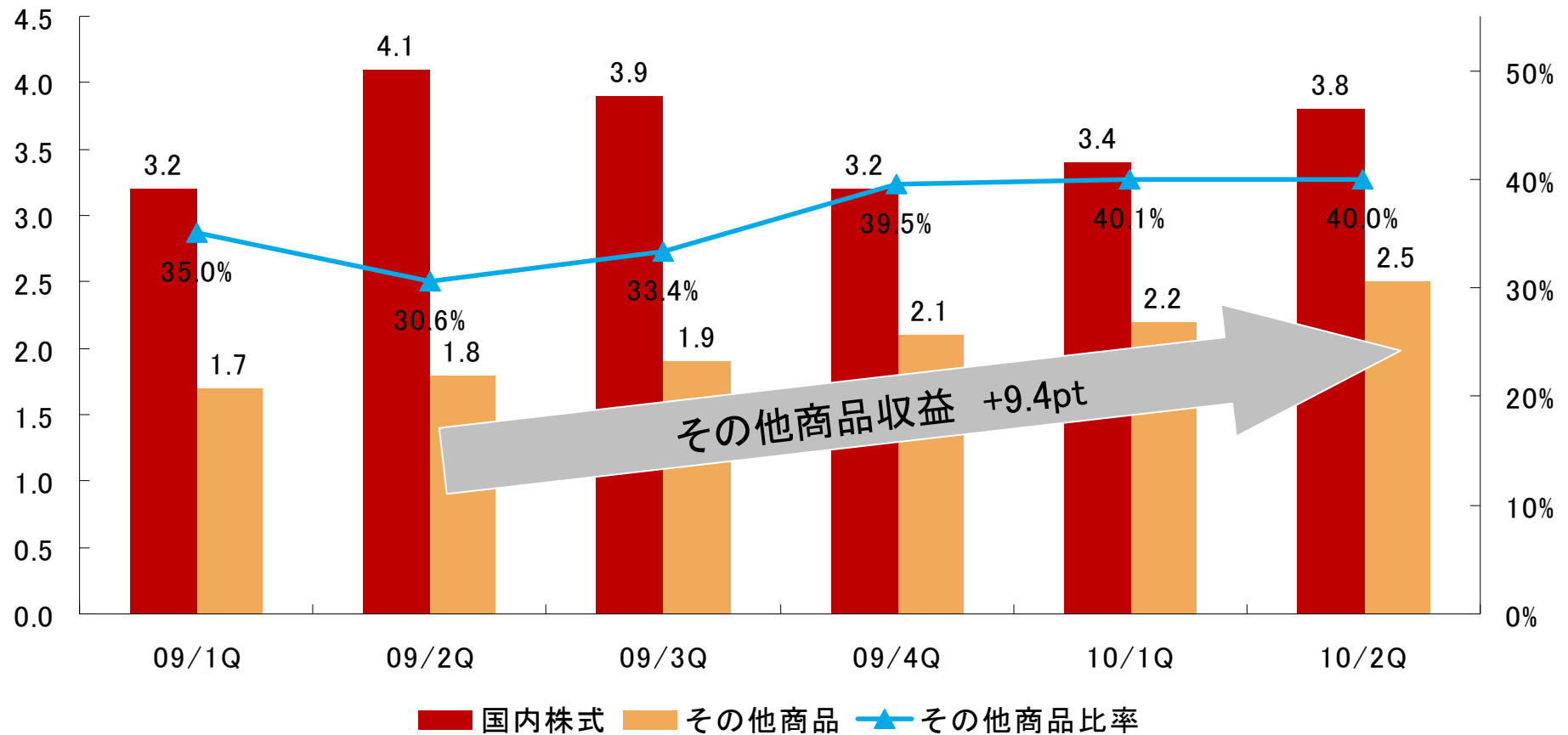
\*1: 債権残高及び総会員数ならびに貸倒引当金については楽天銀行と楽天クレジットとの合計

\*2: 貸倒引当残高率: 引当残高 / 期末債権残高

■前期に引き続き、FX・投資信託が好調。営業収益における国内株式以外の商品の貢献度は40%を維持

(収益:十億円)

(占有率:%)

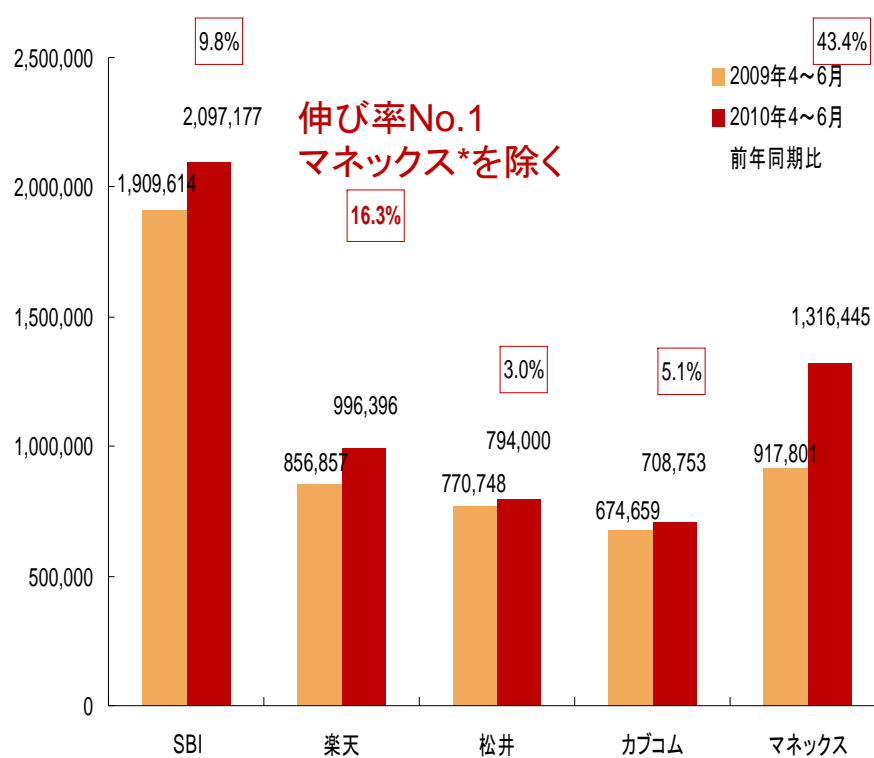


出典:楽天証券におけるデータ分析結果 **87**



- 同業中、楽天証券のみ前年同期比増収。
- 前年同期比で新規口座数は16.3%増加
- 今期収益における新規獲得口座の貢献は16%に達する

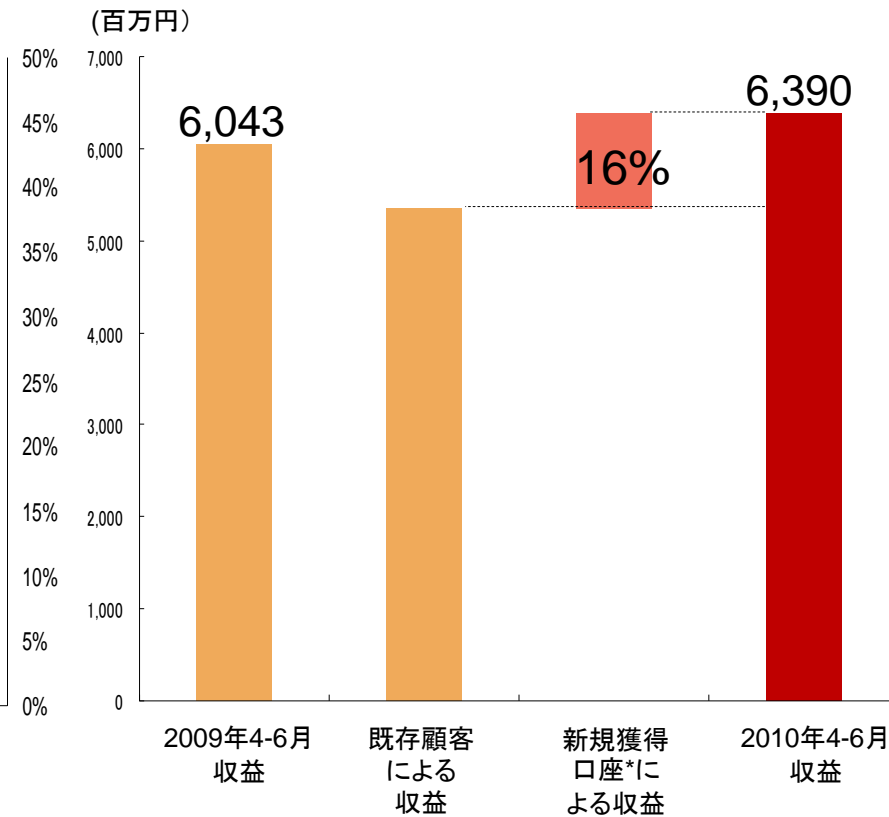
総合口座数の推移(2009 vs 2010)



注:\*マネックスは統合したオリックス証券の口座を含む

出所:各社決算説明資料

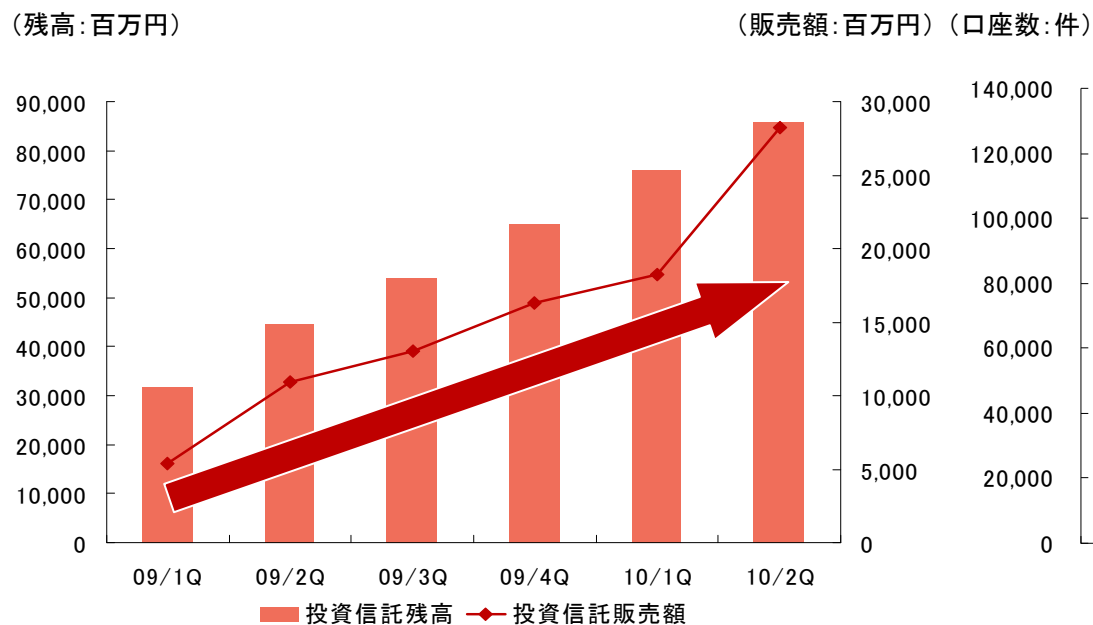
新規獲得口座の収益貢献



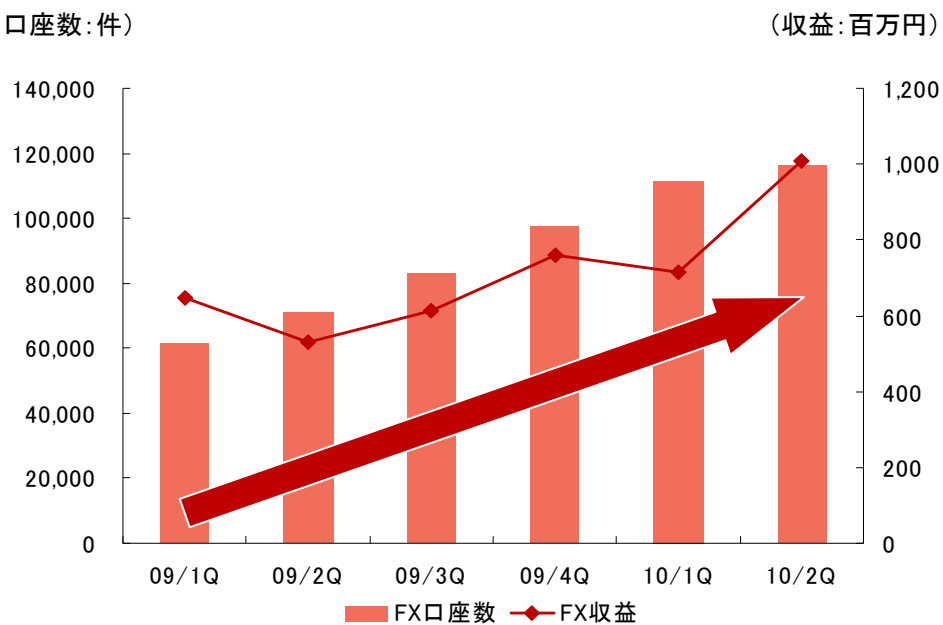
注:\*2009年7月から2010年6月に開設された新規口座

- 投資信託残高+91.8%（前年同期比）、販売額+158.0%（同左）を達成
- FXは口座開設数、収益とも順調に増加

## 投資信託残高・販売額の推移



## FX口座開設数・収益の推移



出典: 楽天証券におけるデータ分析結果

## ■ Asterisk取り組み



- Asterisk接続、正式対応
  - ターボソリューションズ社の「InfiniTalk」がFUSION IP-Phone網への接続に対応
  - 機器コストを抑え、安価なIP電話提供が可能に
- 次世代PBX「trixbox」の販売強化
  - 米国Fonality社がAsteriskベースで開発した次世代コミュニケーションツール

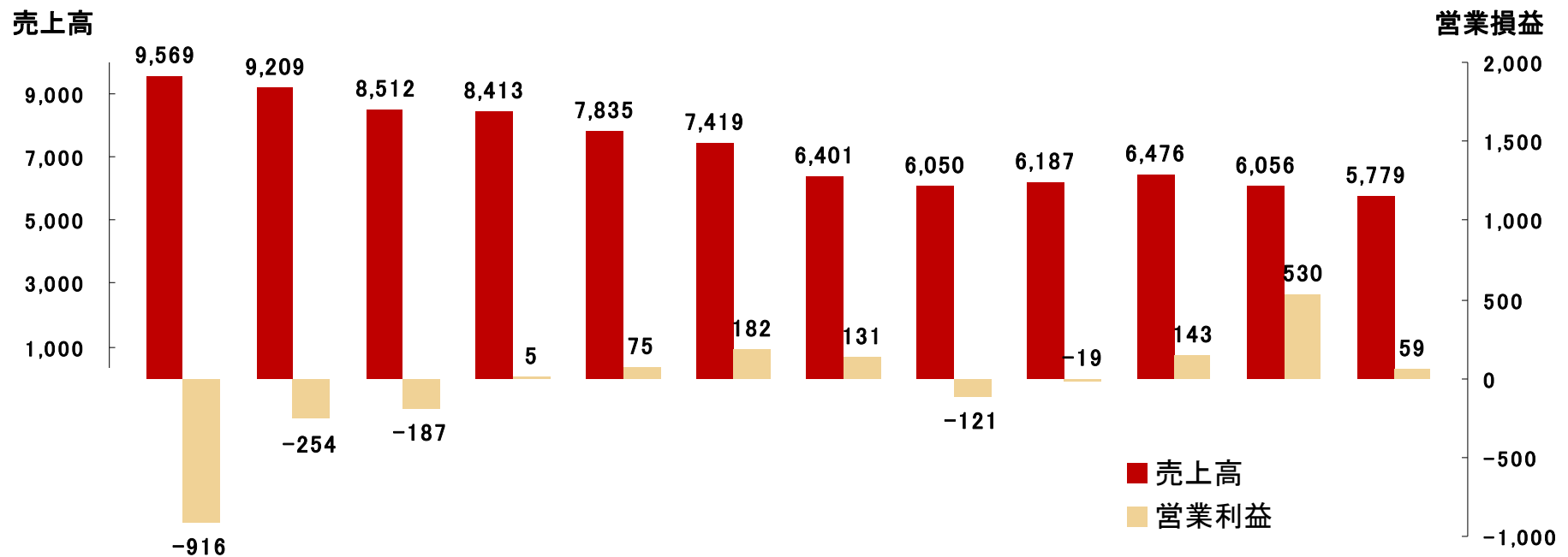
---

## ■ 既存サービスの加速



- 「楽天モバイル for Business」
  - 固定電話への圧倒的な価格優位性を武器に、キャンペーンによる拡販施策を実施中
- 「楽天ブロードバンド」
  - 無料キャンペーン実施により、前年同期比 322.3%と獲得数が大幅増加

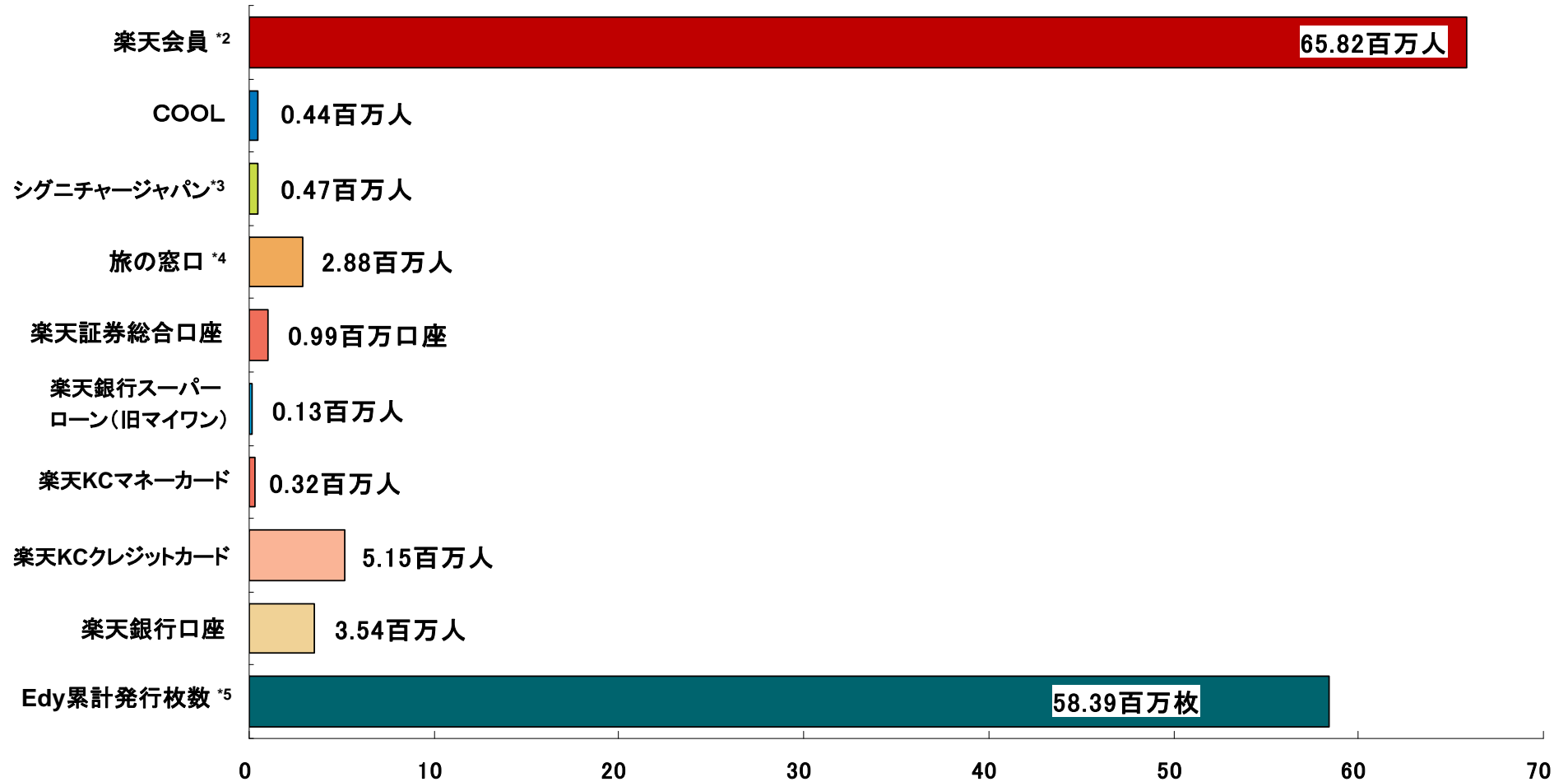
■ 楽天グループ入り後、3期連続の黒字化に向け好発進



(単位: 百万円)

	07/3Q	07/4Q	08/1Q	08/2Q	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q
営業費用	10,485	9,462	8,699	8,408	7,761	7,238	6,270	6,172	6,485	6,333	5,526	5,720
変動費	5,398	5,160	4,611	4,296	4,046	3,792	3,279	3,656	4,071	4,007	3,310	3,628
固定費	4,252	3,529	3,354	3,384	3,023	2,767	2,331	1,904	1,691	1,633	1,561	1,398
販管費	835	774	734	728	692	678	660	612	723	694	655	694

# サービス別会員数\*1



\*1: サービス間の重複は除いていない

\*2: 楽天会員のうち、楽天会員入会后、サービス利用の認められない非アクティブ会員を楽天会員より除き有効と認められた会員数は41.38百万人

\*3: 契約カードへの自動付帯含まない

\*4: 旅の窓口会員は楽天会員IDに移行した人数除く

\*5: モバイル(おサイフケータイ)及びカード

樂天